

住宅都市局業務委託成績評定考査基準

1. 総括監督員

(1) 考査方法

総括監督員は、採点表〔総括監督員〕の減点項目について、(2) 項、(3) 項の減点基準に基づき減点を行うものとする。ただし、(IV) 工事監理については、(2) 項、(4) 項の減点基準に基づき減点を行うものとする。

(2) 事故等による減点

当該業務遂行中に受注者に起因する事故等が発生し指名停止等の措置を行った場合には、当該業務の総合評定点（100 点満点換算）に対して、別表 - 1 を参考として－15 点まで減点することができる。

別表 - 1 受注者に起因する事故等が発生した場合の減点基準

区 分	口頭注意	文書注意	指名停止 1 ヶ月まで	指名停止が 1 ヶ月を超える
考査点	－ 3 点	－ 5 点	－ 10 点	－ 15 点

【適応事例】

- ・ 入札前に提出した当該業務の技術提案書等が虚偽であった事実が判明した。
- ・ 発注者の承諾なしに当該業務に関する権利義務、成果物を第三者に譲渡又は承継、公開した。
- ・ 産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等、関係法令に違反する事実が判明した。
- ・ 一括再委託を行った。
- ・ 打合せ協議または検査の実施にあたり、職務の執行を妨げた。
- ・ 当該業務において過積載等の道路交通法違反により、逮捕または送検等された。
- ・ 当該業務において（当該業務の受注者に起因し）安全管理が不適切であったために、死傷者を生じさせた業務関係者事故、または重大な損害を与えた公衆災害を起こした。

- ・建築士法に違反する事実が判明した。
- ・その他(理由：)

(3) 契約不適合に係る履行の追完等による減点

成果品に、受注者の責任に起因する契約不適合が存在し、契約書の契約不適合責任に関する条項等に記された手続きに従い、契約不適合に係る履行の追完又は代金の減額が実施された場合には、当該業務の総合評定点（100点満点換算）に対して、別表－2を参考として－20点まで減点することができる。ただし、ここでいう履行の追完とは、軽微なミスの修正ではない大幅な成果品の修補又は代替物の引渡しをいう。また、総合評点が採点された後に当該事象が発生した場合は、遡って減点を実施するものとする。

別表－2 契約不適合に係る履行の追完等が実施された場合の減点基準

区 分	契約不適合に係る履行の追完等の実施	故意又は重大な過失により契約不適合に係る履行の追完等の実施
考查点	－10点	－20点

(4) 債務の不履行による減点

当該業務において、受注者に起因する契約の違反が発生し、債務の不履行又は債務の不履行とともに損害賠償の請求等の措置を行った場合には、当該業務の総合評定点（100点満点換算）に対して、別表－3を参考として－20点まで減点することができる。また、総合評点が採点された後に当該事象が発生した場合は、遡って減点を実施するものとする。

別表－3 債務の不履行又は債務の不履行とともに損害賠償の請求等の措置を行った場合の減点基準

区 分	履行請求又は履行請求と共に損害賠償の実施	故意又は重大な過失により履行請求又は履行請求と共に損害賠償の実施
考查点	－10点	－20点

2. 主任監督員

主任監督員は、評定趣旨を十分に理解し尊重した上で、採点表〔主任監督員〕の当該評価項目について、それぞれ総合的に判断して評定を行うものとする。

3. 担当監督員

担当監督員は、採点表〔担当監督員〕の当該評価項目について、当該業務の履行状況に応じ、加減点要素の各項目に従って評定を行うものとする。ただし、工事監理については、当該業務の分野（建築（意匠・構造）、電気設備、機械設備）のうち主たる分野の担当監督員は、採点表〔担当監督員〕〔管理・統括〕、それぞれの分野（建築意匠、建築構造、電気設備、機械設備）の担当監督員は、分野ごとの採点表〔担当監督員〕の当該評価項目について、当該業務の履行状況に応じ、加減点要素の各項目に従って評定を行うものとする。（評価項目の追加、削除、もしくは評価比重の変更は行わない）

4. 検査員

検査員は、採点表〔検査員〕の当該評価項目について、当該業務の履行状況に応じ、加減点要素の各項目に従って評定を行うものとする。（評価項目の追加、削除、もしくは評価比重の変更は行わない）

5. 対象業務が複数の業務にまたがる場合の取扱い

対象業務が、「地質調査、単純調査等業務、測量業務」、「調査業務、計画業務」、「設計業務」のうちの複数の業務にまたがる場合においては、業務の目的、金額を勘案し、原則として主たる業務の考査をもって評定点とみなすものとする。

ここで、「地質調査、単純調査等業務、測量業務」、「調査業務、計画業務」、「設計業務」の3者のうち複数にまたがる場合の「主たる業務」の取扱いについては、以下を参考とする。

- ・「地質調査、単純調査等業務、測量業務」、「調査業務、計画業務」、「設計業務」対象部分のどれかが100万円を超えるときには、その業務を「主たる業務」とみなすものとする。

- ・「地質調査、単純調査等業務、測量業務」、「調査業務、計画業務」、「設計業務」対象部分複数が１００万円を超えると、もしくはどれも１００万円を超えない場合には、業務の目的、金額を勘案して、「主たる業務」を１つ選定するものとする。

これらの扱いは、評定者全員で統一するものとする。

6. 「単純調査業務」について

「調査業務、計画業務」は、広範かつ高度な専門的知識が要求される業務や高度な技術と豊かな経験が要求される業務といった比較的難易度の高い調査業務に対応するものであるため、これについては、「調査業務、計画業務」採点表を使用するものとする。しかし、高度な技術力をそれほど必要としない単純なデータ処理業務や資料収集・整理業務等も含まれることから、これを「単純調査業務」と定義し、「地質調査、単純調査等業務、測量業務」採点表を用いて評定するものとする、なお、「単純調査業務」の対象業務については、以下に示す例を参考とする。

「単純調査業務」の例

- ・単純なデータ収集整理業務
- ・単純なデータ処理業務
- ・書類編集的な業務
- ・文献収集業務
- ・水理・水分観測業務
- ・データ加工業務（降雨解析等）
- ・補償数量の算出
- ・工事記録等の資料の分類・整理
- ・工事図面集、写真集の作成
- ・一般的な現地踏査
- ・一般的な交通量観測業務
- ・大気汚染、水質汚濁、騒音、振動等調査・分析方法が J I S 等で規定されている測定業務

7. 採点表の選定について

対象業務が複数にまたがる場合の取扱いや単純調査業務の選定は、主任監督員が決定する。

8. 総合評定点について

総合評定点を算出する際には、対象業務に応じて各評価項目ごとに以下の重み付けを考慮する。

評価項目		(Ⅰ－１) 土木設計 (概略設計、 予備設計)	(Ⅰ－２) 土木設計 (詳細設計)	(Ⅱ－１) 建築設計 (基本設計)	(Ⅱ－２) 建築設計 (実施設計)	(Ⅲ－１) 地質調査、単 純調査等業 務、測量業務	(Ⅲ－２) 調査業務、計 画業務	(Ⅳ) 工事監理
専 門 技 術 力	提案力、改善力	2	2	2	2	2	2	---
	業務執行技術力	4	4	4	5	4	4	5
	施工時へ の配慮 (注)	概略・予備・基 本設計	1	---	1	---	---	---
		詳細・実施設計	---	1	---	---	---	---
	コスト把握能力 (注)	1	1	1	1	---	---	---
管 理 技 術 力	工程管理能力	2	2	2	2	2	2	---
	迅速性、工程管理能力、 調整能力	---	---	---	---	---	---	8
	品質管理能力	2	2	2	2	2	2	4
	迅速性、弾力性、調整能 力	1	1	1	1	1	1	---
	弾力性等	---	---	---	---	---	---	2
コミュ ニケー ション 力	説明力、プレゼンテーシ ョン能力、協調性	1	1	1	1	1	1	---
	説明力、表現力、協調性	---	---	---	---	---	---	2
取 組 姿 勢	責任感、積極性、倫理観	2	2	2	2	2	2	---
	責任感、積極性	---	---	---	---	---	---	2
成果品の品質		8	8	8	8	8	8	---
施工計画の確認検討、施工図の検 討、工事の確認		---	---	---	---	---	---	12
合 計		24 (100%)	24 (100%)	24 (100%)	26 (100%)	21 (100%)	21 (100%)	35 (100%)

「---」は、評定の対象としない。

(注)「施工時への配慮」及び「コスト把握能力」は、設計業務を評定の対象とする。

附 則

- 1 この基準は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

- 1 この基準は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

- 1 この基準は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。

採点基準
(Ⅰ-1)土木設計(概略設計、予備設計)

評価項目			評価 対象 (※1)	評 価 の 視 点	担当監督員					主任監督員					検査員					評定点	業 務 評 定(注 1)					
					配点	得点率	得点範囲	得点	調整後の 評定点	配点	得点率	得点範囲	得点	調整後の 評定点	配点	得点率	得点範囲	得点	調整後の 評定点		評定点	加重平均点の算出				
																						重み⑧	⑨= ⑦×⑧	/ 満点		
専門技術力 プロセス評価 管理技術力 コミュニケーション 取組姿勢	提案力、改善力 〔加点評価〕	●	業務着手段階における業務特性等の考慮	○※2	20	1.0 ～ 0.6	20 ～ 12												⑦=②	2	/ 200					
		●	業務遂行段階における提案	○※2	40	1.0 ～ 0.6	40 ～ 24																			
		●	業務遂行上必要となる課題の提案	○※2	20	1.0 ～ 0.6	20 ～ 12	①×10/10																		
		●	業務内容等改善の提案	○※2	20	1.0 ～ 0.6	20 ～ 12																			
		／	小 計	／	100	／	100 ～ 60	①=	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／								
	業務執行技術力	●	目的と内容の理解	○	20	1.0 ～ 0.2	20 ～ 4													⑦=	4	/ 400				
		●	必要情報の把握	○	20	1.0 ～ 0.2	20 ～ 4																			
		●	検討項目、検討手法	○	20	1.0 ～ 0.2	20 ～ 4							○	50	1.0 ～ 0.2	50 ～ 10									
		●	打ち合わせ資料の内容〔減点評価〕	○※3	20	0.6 ～ 0.2	12 ～ 4	①×1/10	○	100	1.0 ～ 0.2	100 ～ 20	④= ③×5/10					⑥= ⑤×4/10	⑦= ②+④+⑥							
		●	十分な技術力	○	20	1.0 ～ 0.2	20 ～ 4							○	50	1.0 ～ 0.2	50 ～ 10									
			積算技術(建築実施設計対象)	△	—	1.0 ～ 0.2	— ～ —																			
			営繕積算システム(建築実施設計対象)	△	—	1.0 ～ 0.2	— ～ —																			
		／	小 計	／	100	／	92 ～ 20	①=	／	／	／	100	／	100 ～ 20	③=	④=	／	100	／	100 ～ 20				⑤=	⑥=	⑦=
	施工時への配慮(設計時評価、設計業務を対象に評定する。イ、ロのいずれかを選択する。)	イ.『概略・予備・基本設計』の場合	●	施工に関する一般的な知識	△	60	1.0 ～ 0.2	60 ～ 12												⑦=②	1	/ 100				
			●	施工条件等の把握	△	40	1.0 ～ 0.2	40 ～ 8	①×10/10																	
		／	小 計	／	100	／	100 ～ 20	①=	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	⑦=	⑦=						
		ロ.『詳細・実施設計』の場合		施工に関する一般的な知識	△	—	1.0 ～ 0.2	— ～ —												⑦=②				—	—	
				施工条件等の把握	△	—	1.0 ～ 0.2	— ～ —	①×10/10																	
			施工計画(施工方法、仮設備計画)	△	—	1.0 ～ 0.2	— ～ —	①=	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／								
	コスト把握能力(設計業務を対象に評定する。)	●	コスト把握能力	△	100	1.0 ～ 0.2	100 ～ 20	①×10/10												⑦=②	1	/ 100				
		／	小 計	／	100	／	100 ～ 20	①=	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／								
		／	小 計	／	100	／	100 ～ 20	①=	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／								
		／	小 計	／	100	／	100 ～ 20	①=	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／								
		／	小 計	／	100	／	100 ～ 20	①=	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／								
	工程管理能力〔減点評価〕	●	実施手順、工程計画	○※3	30	0.6 ～ 0.2	18 ～ 6													⑦=②	2	/ 200				
		●	実施体制	○※3	10	0.6 ～ 0.2	6 ～ 2																			
		●	打合せ内容の理解、記録	○※3	10	0.6 ～ 0.2	6 ～ 2	①×10/10																		
		●	内部関係者への情報伝達	○※3	10	0.6 ～ 0.2	6 ～ 2																			
		●	工程管理	○※3	40	0.6 ～ 0.2	24 ～ 8																			
	品質管理能力(イ、ロのいずれかを選択する。)	イ.『詳細設計』以外の場合	●	ミス防止の実施〔加点評価〕	○※2	100	1.0 ～ 0.6	100 ～ 60	①×10/10											⑦=②	2	/ 200				
			／	小 計	／	100	／	100 ～ 60	①=	②																
		ロ.『詳細設計』の場合		ミス防止の実施	△	—	1.0 ～ 0.2	— ～ —	①×10/10											⑦=②				—	—	
			／	小 計	／	—	／	— ～ —	①=	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／							
			／	小 計	／	—	／	— ～ —	①=	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／							
	迅速性、弾力性、調整能力	●	当初計画の変更〔加点評価〕	○※2	40	1.0 ～ 0.6	40 ～ 24													⑦=②	1	/ 100				
		●	関連事業者間の調整〔加点評価〕	○※2	30	1.0 ～ 0.6	30 ～ 18																			
		●	地元住民との合意形成〔加点評価〕	○※2	30	1.0 ～ 0.6	30 ～ 18	①×10/10																		
			分野間の調整〔加点評価〕(建築設計対象)	△	—	1.0 ～ 0.6	— ～ —																			
		／	関係法令の理解、特定行政庁との調整(建築設計対象)	△	—	1.0 ～ 0.2	— ～ —																			
	説明力、プレゼンテーション力、協調性	／	小 計	／	100	／	100 ～ 60	①=	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	⑦=	1	/ 100				
		●	理解しやすい説明・プレゼンテーション(資料)	○	30	1.0 ～ 0.2	30 ～ 6																			
		●	理解しやすい説明・プレゼンテーション(対応)	○	30	1.0 ～ 0.2	30 ～ 6	①×1/10											⑥= ⑤×9/10					⑦= ②+⑥		
		●	説明を補う努力	○	20	1.0 ～ 0.2	20 ～ 4																			
		／	円滑な業務遂行への努力〔加点評価〕	○※2	20	1.0 ～ 0.2	20 ～ 4																			
	責任感、積極性、倫理観	／	小 計	／	100	／	100 ～ 20	①=	／	／	／	／	／	／	100	／	100 ～ 20	⑤=	⑥=	⑦=	⑦=	2	/ 200			
		●	責任感、積極性	○	100	1.0 ～ 0.2	100 ～ 20	①×1/10	○	100	1.0 ～ 0.2	100 ～ 20	④= ③×9/10													
		●	責任感、積極性、倫理観																							
		／	小 計	／	100	／	100 ～ 20	①=	／	／	／	③=	④=	／	100	／	100 ～ 20	⑤=	⑥=							
／		小 計	／	100	／	100 ～ 20	①=	／	／	／	③=	④=	／	100	／	100 ～ 20	⑤=	⑥=								
成果品の品質	●	目的の達成度	○	40	1.0 ～ 0.2	40 ～ 8		○	40	1.0 ～ 0.2	40 ～ 8		○	40	1.0 ～ 0.2	40 ～ 8			⑦= ②+④+⑥	8	/ 800					
	●	的確なとりまとめ	○	30	1.0 ～ 0.2	30 ～ 6	①×1/10	○	30	1.0 ～ 0.2	30 ～ 6	④= ③×4/10	○	30	1.0 ～ 0.2	30 ～ 6	⑥= ⑤×5/10									
	●	ミスの有無	○	30	1.0 ～ 0.2	30 ～ 6		○	30	1.0 ～ 0.2	30 ～ 6		○	30	1.0 ～ 0.2	30 ～ 6										
		数量計算書、数量調書(建築実施設計対象)	△	—	1.0 ～ 0.2	— ～ —		△	—	1.0 ～ 0.2	— ～ —															
	／	小 計	／	100	／	100 ～ 20	①=	／	／	／	③=	④=	／	100	／	100 ～ 20	⑤=	⑥=								
総合評定点の算定					⑩=⑦の評定点の加重平均点(注 2)																		←←← 24 (100%)		/ 2400	
					⑪＝事故等による減点(業務遂行段階を対象とする)※総括監督員採点																					
					⑫＝成果品に、受注者の責任に起因する契約不適合が存在し、契約図書に記された手続きに従い、契約不適合に係る履行の追完等が実施された場合の減点(軽微なミスの修正を除く)※総括監督																					
					⑬総合評定点=⑩+⑪+⑫																					
所 見 (必ず記載すること)					(担当監督員)				(主任監督員)				(総括監督員)				(検査員)				は、評価対象外。 ○ は、必須評定項目。 △ は、選択評定項目。 ※1 は、「●」のある「評価の視点」が評価対象。 ※2 は、加点評価項目。 ※3 は、減点評価項目。 注 1. 各評価項目の「業務評定」の評定点は小数第一位までとする。 注 2. ⑩=⑦の評定点の加重平均点は、小数第一位を四捨五入する。					

採点基準
(Ⅰ-2)土木設計(詳細設計)

評価項目			評価 対象 (※1)	評 価 の 視 点	担当監督員					主任監督員					検査員					評定点	業 務 評 定(注 1)				
					配点	得点率	得点範囲	得点	調整後の 評定点	配点	得点率	得点範囲	得点	調整後の 評定点	配点	得点率	得点範囲	得点	調整後の 評定点		評定点	加重平均点の算出			
																						重み⑧	⑨= ⑦×⑧	/ 満点	
専門技術力 プロセス評価 管理技術力 コミュニケーション 取組姿勢	提案力、改善力 〔加点点評価〕	●	業務着手段階における業務特性等の考慮	○※2	20	1.0 ～ 0.6	20 ～ 12														7=②	2	/ 200		
		●	業務遂行段階における提案	○※2	40	1.0 ～ 0.6	40 ～ 24																		
		●	業務遂行上必要となる課題の提案	○※2	20	1.0 ～ 0.6	20 ～ 12	①×10/10																	
		●	業務内容等改善の提案	○※2	20	1.0 ～ 0.6	20 ～ 12																		
			小 計		100		100 ～ 60	①=																	
	業務執行技術力	●	目的と内容の理解	○	20	1.0 ～ 0.2	20 ～ 4															7=②	4	/ 400	
		●	必要情報の把握	○	20	1.0 ～ 0.2	20 ～ 4																		
		●	検討項目、検討手法	○	20	1.0 ～ 0.2	20 ～ 4							○	50	1.0 ～ 0.2	50 ～ 10								
		●	打ち合わせ資料の内容[減点評価]	○※3	20	0.6 ～ 0.2	12 ～ 4	①×1/10	○	100	1.0 ～ 0.2	100 ～ 20													
		●	十分な技術力	○	20	1.0 ～ 0.2	20 ～ 4							○	50	1.0 ～ 0.2	50 ～ 10								
			積算技術(建築実施設計対象)	△	—	1.0 ～ 0.2	— ～ —																		
			営繕積算システム(建築実施設計対象)	△	—	1.0 ～ 0.2	— ～ —																		
			小 計		100		92 ～ 20	①=		100		100 ～ 20	③=	④=		100		100 ～ 20	⑤=	⑥=	⑦=				
	施工時への配慮(設計時評価、設計業務を対象に評定する。イ、ロのいずれかを選択する。)	イ.『概略・予備・基本設計』の場合		施工に関する一般的な知識	△	—	1.0 ～ 0.2	— ～ —														⑦=②	—	—	
				施工条件等の把握	△	—	1.0 ～ 0.2	— ～ —	①×10/10														⑦=		
		ロ.『詳細・実施設計』の場合	●	施工に関する一般的な知識	△	40	1.0 ～ 0.2	40 ～ 8															⑦=	1	/ 100
			●	施工条件等の把握	△	30	1.0 ～ 0.2	30 ～ 6	①×10/10														⑦=②		
			●	施工計画(施工方法、仮設備計画)	△	30	1.0 ～ 0.2	30 ～ 6															⑦=		(4.17%)
	コスト把握能力(設計業務を対象に評定する。)	●	コスト把握能力	△	100	1.0 ～ 0.2	100 ～ 20	①×10/10														⑦=②	1	/ 100	
			小 計		100		100 ～ 20	①=														⑦=		(4.17%)	
	工程管理能力〔減点評価〕	●	実施手順、工程計画	○※3	30	0.6 ～ 0.2	18 ～ 6															⑦=②	2	/ 200	
		●	実施体制	○※3	10	0.6 ～ 0.2	6 ～ 2																		
		●	打合せ内容の理解、記録	○※3	10	0.6 ～ 0.2	6 ～ 2	①×10/10																	
		●	内部関係者への情報伝達	○※3	10	0.6 ～ 0.2	6 ～ 2																		
		●	工程管理	○※3	40	0.6 ～ 0.2	24 ～ 8																		
			小 計		100		60 ～ 20	①=																	⑦=
		品質管理能力(イ、ロのいずれかを選択する。)	イ.『詳細設計』以外の場合		ミス防止の実施[加点点評価]	○※2	—	1.0 ～ 0.6	— ～ —	②= ①×10/10													⑦=②	—	—
					小 計		—		— ～ —	①=	②														
			ロ.『詳細設計』の場合	●	ミス防止の実施	△	100	1.0 ～ 0.2	100 ～ 20	①×10/10													⑦=②	2	/ 200
					小 計		100		100 ～ 20	①=													⑦=		(8.33%)
	迅速性、弾力性、調整能力		●	当初計画の変更[加点点評価]	○※2	40	1.0 ～ 0.6	40 ～ 24															⑦=②	1	/ 100
●		関連事業者間の調整[加点点評価]	○※2	30	1.0 ～ 0.6	30 ～ 18																			
●		地元住民との合意形成[加点点評価]	○※2	30	1.0 ～ 0.6	30 ～ 18	①×10/10																		
		分野間の調整[加点点評価](建築設計対象)	△	—	1.0 ～ 0.6	— ～ —																			
		関係法令の理解、特定行政庁との調整(建築設計対象)	△	—	1.0 ～ 0.2	— ～ —															⑦=				
説明力、プレゼンテーション力、協調性	●	理解しやすい説明・プレゼンテーション(資料)	○	30	1.0 ～ 0.2	30 ～ 6															⑦= ⑤×9/10 ②+⑥	1	/ 100		
	●	理解しやすい説明・プレゼンテーション(対応)	○	30	1.0 ～ 0.2	30 ～ 6	②= ①×1/10																		
	●	説明を補う努力	○	20	1.0 ～ 0.2	20 ～ 4																			
	●	円滑な業務遂行への努力[加点点評価]	○※2	20	1.0 ～ 0.2	20 ～ 4																			
		小 計		100		100 ～ 20	①=								100		100 ～ 20	⑤=	⑥	⑦=					(4.17%)
責任感、積極性、倫理観	●	責任感、積極性	○	100	1.0 ～ 0.2	100 ～ 20	②= ①×1/10						④= ③×9/10								⑦= ②+④	2	/ 200		
	●	責任感、積極性、倫理観																			⑦=				
		小 計		100		100 ～ 20	①=						③=	④							⑦=		(8.33%)		
成果品の品質	●	目的の達成度	○	40	1.0 ～ 0.2	40 ～ 8									○	40	1.0 ～ 0.2	40 ～ 8			⑦= ⑥×5/10 ②+④+⑥	8	/ 800		
	●	的確なとりまとめ	○	30	1.0 ～ 0.2	30 ～ 6	②= ①×1/10						○	30	1.0 ～ 0.2	30 ～ 6									
	●	ミスの有無	○	30	1.0 ～ 0.2	30 ～ 6							○	30	1.0 ～ 0.2	30 ～ 6									
		数量計算書、数量調書(建築実施設計対象)	△	—	1.0 ～ 0.2	— ～ —							△	—	1.0 ～ 0.2	— ～ —									
		小 計		100		100 ～ 20	①=						③=	④		100		100 ～ 20	⑤=	⑥				⑦=	
総合評定点の算定				⑩=⑦の評定点の加重平均点(注 2)																		←←← 24 (100%)		/ 2400	
				⑪=事故等による減点(業務遂行段階を対象とする)※総括監督員採点																					
				⑫=成果品に、受注者の責任に起因する契約不適合が存在し、契約図書に記された手続きに従い、契約不適合に係る履行の追完等が実施された場合の減点(軽微なミスの修正を除く)※総括監督																					
				⑬総合評定点=⑩+⑪+⑫																					
所 見 (必ず記載すること)				(担当監督員)				(主任監督員)				(総括監督員)				(検査員)				は、評価対象外。 ○ は、必須評定項目。 △ は、選択評定項目。 ※1 は、「●」のある「評価の視点」が評価対象。 ※2 は、加点点評価項目。 ※3 は、減点評価項目。 注 1. 各評価項目の「業務評定」の評定点は小数第一位までとする。 注 2. ⑩=⑦の評定点の加重平均点は、小数第一位を四捨五入する。					

採点基準
(Ⅱ-1)建築設計(基本設計)

評価項目		評価 対象 (※1)	評 価 の 視 点	担当監督員					主任監督員					検査員					評定点	業 務 評 定(注 1)				
				配点	得点率	得点範囲	得点	調整後の 評定点	配点	得点率	得点範囲	得点	調整後の 評定点	配点	得点率	得点範囲	得点	調整後の 評定点		評定点	加重平均点の算出			
																					重み⑧	⑨= ⑦×⑧	/ 満点	
専門技術力	提案力、改善力 〔加点評価〕	●	業務着手段階における業務特性等の考慮	○※2	20	1.0 ～ 0.6	20 ～ 12												⑦=②	2	/ 200			
		●	業務遂行段階における提案	○※2	40	1.0 ～ 0.6	40 ～ 24																	
		●	業務遂行上必要となる課題の提案	○※2	20	1.0 ～ 0.6	20 ～ 12																	
		●	業務内容等改善の提案	○※2	20	1.0 ～ 0.6	20 ～ 12																	
	業務執行技術力		小 計		100		100 ～ 60	①=												⑦=	(8.33%)			
		●	目的と内容の理解	○	20	1.0 ～ 0.2	20 ～ 4													⑦=②+④+⑥	4	/ 400		
		●	必要情報の把握	○	20	1.0 ～ 0.2	20 ～ 4																	
		●	検討項目、検討手法	○	20	1.0 ～ 0.2	20 ～ 4																	
		●	打ち合わせ資料の内容〔減点評価〕	○※3	20	0.6 ～ 0.2	12 ～ 4		①×1/10	○	100	1.0 ～ 0.2	100 ～ 20											
		●	十分な技術力	○	20	1.0 ～ 0.2	20 ～ 4																	
			積算技術(建築実施設計対象)	△	—	1.0 ～ 0.2	— ～ —																	
			営繕積算システム(建築実施設計対象)	△	—	1.0 ～ 0.2	— ～ —																	
		小 計		100		92 ～ 20	①=			100		100 ～ 20	③=	④=		100		100 ～ 20	⑤=				⑥=	⑦=
	施工時への配慮(設計時評価、設計業務を対象に評定する。イ、ロのいずれかを選択する。)	イ.『概略・予備・基本設計』の場合	●	施工に関する一般的な知識	△	100	1.0 ～ 0.2	100 ～ 20													⑦=②	1	/ 100	
				施工条件等の把握	△	—	1.0 ～ 0.2	— ～ —														⑦=	(4.17%)	
			ロ.『詳細・実施設計』の場合		施工に関する一般的な知識	△	—	1.0 ～ 0.2	— ～ —													⑦=②	—	—
					施工条件等の把握	△	—	1.0 ～ 0.2	— ～ —														⑦=	(4.17%)
				施工計画(施工方法、仮設備計画)	△	—	1.0 ～ 0.2	— ～ —														⑦=	(4.17%)	
				小 計		—		— ～ —	①=													⑦=	(4.17%)	
	コスト把握能力(設計業務を対象に評定する。)	●	コスト把握能力	△	100	1.0 ～ 0.2	100 ～ 20														⑦=②	1	/ 100	
			小 計		100		100 ～ 20	①=													⑦=	(4.17%)		
	工程管理能力 〔減点評価〕	●	実施手順、工程計画	○※3	30	0.6 ～ 0.2	18 ～ 6														⑦=②	2	/ 200	
		●	実施体制	○※3	10	0.6 ～ 0.2	6 ～ 2																	
		●	打合せ内容の理解、記録	○※3	10	0.6 ～ 0.2	6 ～ 2																	
		●	内部関係者への情報伝達	○※3	10	0.6 ～ 0.2	6 ～ 2																	
		●	工程管理	○※3	40	0.6 ～ 0.2	24 ～ 8																	
			小 計		100		60 ～ 20	①=																⑦=
	品質管理能力(イ、ロのいずれかを選択する。)	イ.『詳細設計』以外の場合	●	ミス防止の実施〔加点評価〕	○※2	100	1.0 ～ 0.6	100 ～ 60													⑦=②	2	/ 200	
				小 計		100		100 ～ 60	①=	②												(8.33%)		
			ロ.『詳細設計』の場合		ミス防止の実施	△	—	1.0 ～ 0.2	— ～ —													⑦=②	—	—
					小 計		—		— ～ —	①=													⑦=	(4.17%)
	迅速性、弾力性、調整能力	●	当初計画の変更〔加点評価〕	○※2	20	1.0 ～ 0.6	20 ～ 12														⑦=②	1	/ 100	
		●	関連事業者間の調整〔加点評価〕	○※2	10	1.0 ～ 0.6	10 ～ 6																	
		●	地元住民との合意形成〔加点評価〕	○※2	10	1.0 ～ 0.6	10 ～ 6																	
		●	分野間の調整〔加点評価〕(建築設計対象)	△	30	1.0 ～ 0.6	30 ～ 18																	
		●	関係法令の理解、特定行政庁との調整(建築設計対象)	△	30	1.0 ～ 0.2	30 ～ 6																	
			小 計		100		100 ～ 48	①=																⑦=
説明力、プレゼンテーション力、協調性	●	理解しやすい説明・プレゼンテーション(資料)	○	30	1.0 ～ 0.2	30 ～ 6														⑦=②+⑥	1	/ 100		
	●	理解しやすい説明・プレゼンテーション(対応)	○	30	1.0 ～ 0.2	30 ～ 6																		
	●	説明を補う努力	○	20	1.0 ～ 0.2	20 ～ 4																		
	●	円滑な業務遂行への努力〔加点評価〕	○※2	20	1.0 ～ 0.2	20 ～ 4																		
責任感、積極性、倫理観		小 計		100		100 ～ 20	①=													⑦=	(4.17%)			
	●	責任感、積極性	○	100	1.0 ～ 0.2	100 ～ 20															⑦=②+④	2	/ 200	
	●	責任感、積極性、倫理観							○	100	1.0 ～ 0.2	100 ～ 20									⑦=	(8.33%)		
		小 計		100		100 ～ 20	①=			100		100 ～ 20	③=							⑦=	(8.33%)			
結果評価	成果品の品質	●	目的の達成度	○	40	1.0 ～ 0.2	40 ～ 8													⑦=②+④+⑥	8	/ 800		
		●	的確なとりまとめ	○	30	1.0 ～ 0.2	30 ～ 6																	
		●	ミスの有無	○	30	1.0 ～ 0.2	30 ～ 6																	
			数量計算書、数量調書(建築実施設計対象)	△	—	1.0 ～ 0.2	— ～ —																	
		小 計		100		100 ～ 20	①=						③=			100		100 ～ 20	⑤=		⑦=	(33.33%)		
総合評定点の算定			⑩=⑦の評定点の加重平均点(注 2)																		←←← 24 (100%)	/ 2400		
			⑪=事故等による減点(業務遂行段階を対象とする)※総括監督員採点																					
			⑫=成果品に、受注者の責任に起因する契約不適合が存在し、契約図書に記された手続きに従い、契約不適合に係る履行の追完等修補又は損害賠償が実施された場合の減点(軽微なミスの修正)																					
			⑬総合評定点=⑩+⑪+⑫																					
所 見 (必ず記載すること)			(担当監督員)				(主任監督員)				(総括監督員)				(検査員)				は、評価対象外。 ○ は、必須評定項目。 △ は、選択評定項目。 ※1 は、「●」のある「評価の視点」が評価対象。 ※2 は、加点評価項目。 ※3 は、減点評価項目。 注 1. 各評価項目の「業務評定」の評定点は小数第一位までとする。 2. ⑩=⑦の評定点の加重平均点は、小数第一位を四捨五入する。					

(Ⅱ-2)建築設計(実施設計)

☐ は、評価対象外。
☒ は、必須評価項目。
☐ は、選択評価項目。
 ※1 は、「●」のある「評価の視点」が評価対象。
 ※2 は、加点評価項目。
 ※3 は、減点評価項目。
 注 1. 各評価項目の「業務評価」の評価点は小数第一位までとする。
 2. ⑩＝⑦の評価点の加重平均点は、小数第一位を四捨五入する。

(Ⅲ-1)地質調査、単純調査等業務、測量作業

☐ は、評価対象外。
☐ は、必須評定項目。
☐ は、選択評定項目。
 ※1 は、「●」のある「評価の視点」が評価対象。
 ※2 は、加点評価項目。
 ※3 は、減点評価項目。
 注 1. 各評価項目の「業務評定」の評定点は小数第一位までとする。
 注 2. ⑩＝⑦の評定点の加重平均点は、小数第一位を四捨五入する。

採点基準
(Ⅲ-2)調査業務、計画業務

評価項目		評価対象 (※1)	評 価 の 視 点	担当監督員					主任監督員					検査員					評定点	業 務 評 定(注 1)						
				配点	得点率	得点範囲	得点	調整後の 評定点	配点	得点率	得点範囲	得点	調整後の 評定点	配点	得点率	得点範囲	得点	調整後の 評定点		評定点	加重平均点の算出					
																					重み⑧	⑨= ⑦×⑧	/ 満点			
専門技術力 プロセス評価 管理技術力 コミュニケーション 取組姿勢	提案力、改善力 〔加点点評価〕	●	業務着手段階における業務特性等の考慮	○※2	20	1.0 ～ 0.6	20 ～ 12													⑦=②	2	/ 200	(9.52%)			
		●	業務遂行段階における提案	○※2	40	1.0 ～ 0.6	40 ～ 24																			
		●	業務遂行上必要となる課題の提案	○※2	20	1.0 ～ 0.6	20 ～ 12	①×10/10																		
		●	業務内容等改善の提案	○※2	20	1.0 ～ 0.6	20 ～ 12																			
	小 計				100		100 ～ 60	①=											⑦=							
	業務執行技術力	●	目的と内容の理解	○	20	1.0 ～ 0.2	20 ～ 4													⑦=② ②+④+⑥	4	/ 400	(19.05%)			
		●	必要情報の把握	○	20	1.0 ～ 0.2	20 ～ 4																			
		●	検討項目、検討手法	○	20	1.0 ～ 0.2	20 ～ 4							○	50	1.0 ～ 0.2	50 ～ 10		⑥= ⑤×4/10							
		●	打ち合わせ資料の内容〔減点評価〕	○※3	20	0.6 ～ 0.2	12 ～ 4	①×1/10	○	100	1.0 ～ 0.2	100 ～ 20	④= ③×5/10						⑦=							
		●	十分な技術力	○	20	1.0 ～ 0.2	20 ～ 4							○	50	1.0 ～ 0.2	50 ～ 10									
			積算技術(建築実施設計対象)	△	—	1.0 ～ 0.2	— ～ —																			
			営繕積算システム(建築実施設計対象)	△	—	1.0 ～ 0.2	— ～ —																			
		小 計				100		92 ～ 20	①=		100		100 ～ 20	③=		100		100 ～ 20	⑤=	⑥=	⑦=					
	施工時への配慮(設計時評価、設計業務を対象に評定する。イ、ロのいずれかを選択する。)	イ.『概略・予備・基本設計』の場合	施工に関する一般的な知識	△	—	1.0 ～ 0.2	— ～ —	②= ①×10/10												⑦=②	—	—				
			施工条件等の把握	△	—	1.0 ～ 0.2	— ～ —																			
			小 計		—		— ～ —	①=												⑦=						
		ロ.『詳細・実施設計』の場合	施工に関する一般的な知識	△	—	1.0 ～ 0.2	— ～ —													⑦=②	—	—				
			施工条件等の把握	△	—	1.0 ～ 0.2	— ～ —	①×10/10																		
			施工計画(施工方法、仮設備計画)	△	—	1.0 ～ 0.2	— ～ —													⑦=						
		小 計				—	— ～ —	①=												⑦=						
	コスト把握能力 (設計業務を対象に評定する。)	コスト把握能力			△	—	1.0 ～ 0.2	— ～ —	②= ①×10/10											⑦=②	—	—				
		小 計				—	— ～ —	①=												⑦=						
	工程管理能力 〔減点評価〕	●	実施手順、工程計画	○※3	30	0.6 ～ 0.2	18 ～ 6													⑦=②	2	/ 200	(9.52%)			
		●	実施体制	○※3	10	0.6 ～ 0.2	6 ～ 2																			
		●	打合せ内容の理解、記録	○※3	10	0.6 ～ 0.2	6 ～ 2																			
		●	内部関係者への情報伝達	○※3	10	0.6 ～ 0.2	6 ～ 2																			
		●	工程管理	○※3	40	0.6 ～ 0.2	24 ～ 8																			
	小 計				100		60 ～ 20	①=												⑦=						
	品質管理能力 (イ、ロのいずれかを選択する。)	イ.『詳細設計』以外の場合	ミス防止の実施〔加点点評価〕	○※2	100	1.0 ～ 0.6	100 ～ 60	②= ①×10/10												⑦=②	2	/ 200	(9.52%)			
			小 計		100		100 ～ 60	①=												⑦=②	—	—				
		ロ.『詳細設計』の場合	ミス防止の実施	△	—	1.0 ～ 0.2	— ～ —	②= ①×10/10												⑦=②						
	小 計				—		— ～ —	①=												⑦=						
	迅速性、弾力性、調整能力	●	当初計画の変更〔加点点評価〕	○※2	40	1.0 ～ 0.6	40 ～ 24													⑦=②	1	/ 100	(4.76%)			
		●	関連事業者間の調整〔加点点評価〕	○※2	30	1.0 ～ 0.6	30 ～ 18																			
		●	地元住民との合意形成〔加点点評価〕	○※2	30	1.0 ～ 0.6	30 ～ 18																			
			分野間の調整〔加点点評価〕(建築設計対象)	△	—	1.0 ～ 0.6	— ～ —																			
			関係法令の理解、特定行政庁との調整(建築設計対象)	△	—	1.0 ～ 0.2	— ～ —																			
	小 計				100		100 ～ 60	①=												⑦=						
	説明力、プレゼンテーション力、協調性	●	理解しやすい説明・プレゼンテーション(資料)	○	30	1.0 ～ 0.2	30 ～ 6													⑦= ②+⑥	1	/ 100	(4.76%)			
		●	理解しやすい説明・プレゼンテーション(対応)	○	30	1.0 ～ 0.2	30 ～ 6	②= ①×1/10						○	100	1.0 ～ 0.2	100 ～ 20		⑥= ⑤×9/10							
		●	説明を補う努力	○	20	1.0 ～ 0.2	20 ～ 4																			
		●	円滑な業務遂行への努力〔加点点評価〕	○※2	20	1.0 ～ 0.2	20 ～ 4																			
	小 計				100		100 ～ 20	①=							100		100 ～ 20	⑤=		⑦=						
	責任感、積極性、倫理観	●	責任感、積極性	○	100	1.0 ～ 0.2	100 ～ 20	②= ①×1/10					④= ③×9/10							⑦= ②+④	2	/ 200	(9.52%)			
		●	責任感、積極性、倫理観						○	100	1.0 ～ 0.2	100 ～ 20								⑦=						
	小 計				100		100 ～ 20	①=			100		100 ～ 20	③=						⑦=						
結果評価	成果品の品質	●	目的の達成度	○	40	1.0 ～ 0.2	40 ～ 8		○	40	1.0 ～ 0.2	40 ～ 8		○	40	1.0 ～ 0.2	40 ～ 8		⑦= ②+④+⑥	7	/ 700	(33.33%)				
		●	的確なとりまとめ	○	30	1.0 ～ 0.2	30 ～ 6	②= ①×1/10	○	30	1.0 ～ 0.2	30 ～ 6	④= ③×4/10	○	30	1.0 ～ 0.2	30 ～ 6	⑥= ⑤×5/10								
		●	ミスの有無	○	30	1.0 ～ 0.2	30 ～ 6		○	30	1.0 ～ 0.2	30 ～ 6		○	30	1.0 ～ 0.2	30 ～ 6									
			数量計算書、数量調書(建築実施設計対象)	△	—	1.0 ～ 0.2	— ～ —		△	—	1.0 ～ 0.2	— ～ —														
	小 計				100		100 ～ 20	①=				③=			100		100 ～ 20	⑤=		⑦=						
総合評定点の算定				⑩=⑦の評定点の加重平均点(注 2)																		21 (100%)	/ 2100			
				⑪＝事故等による減点(業務遂行段階を対象とする)※総括監督員採点																						
				⑫＝成果品に、受注者の責任に起因する契約不適合が存在し、契約図書に記された手続きに従い、契約不適合に係る履行の追完等が実施された場合の減点(軽微なミスの修正を除く)※総括監督																						
				⑬総合評定点=⑩+⑪+⑫																						
所 見 (必ず記載すること)				(担当監督員)				(主任監督員)				(総括監督員)				(検査員)				は、評価対象外。 ○ は、必須評定項目。 △ は、選択評定項目。 ※1 は、「●」のある「評価の視点」が評価対象。 ※2 は、加点点評価項目。 ※3 は、減点評価項目。 注 1. 各評価項目の「業務評定」の評定点は小数第一位までとする。 注 2. ⑩=⑦の評定点の加重平均点は、小数第一位を四捨五入する。						

採点基準
(Ⅳ)工事監理

評価項目			評 価 の 視 点	担当監督員																主任監督員				検査員				得点 (加減点)	評価項目別内訳 得点 (加減点) / 配点																											
				管理・統括				建築意匠				建築構造				電気設備														機械設備																										
				配点	得点率	得点範囲	得点 (加減点)	配点	得点率	得点範囲	得点 (加減点)	配点	得点率	得点範囲	得点 (加減点)	配点	得点率	得点範囲	得点 (加減点)	配点	得点率	得点範囲	得点 (加減点)	調整後の 得点 (加減点) (注1)	配点	得点率	得点範囲			得点 (加減点)	配点	得点率	得点範囲	得点 (加減点)																						
専門技術力	業務執行技術力	目的と内容の理解	1	1.0 ～ -1.0	1.0 ～ -1.0																	③= ①*0.2+ Σ ②*0.8	10	1.0 ～ -1.0	10.0 ～ -10.0					⑥= (③*0.8+ ④*0.2)*0.8 +⑤*0.2	/ 11.36																									
		必要情報の把握	1	1.0 ～ -1.0	1.0 ～ -1.0		2.5	1.0 ～ -1.0	2.5 ～ -2.5		2.5	1.0 ～ -1.0	2.5 ～ -2.5		2.5	1.0 ～ -1.0	2.5 ～ -2.5		2.5	1.0 ～ -1.0	2.5 ～ -2.5																																			
		検討・確認事項、検討・確認内容(施工図の確認)	1	1.0 ～ -1.0	1.0 ～ -1.0		2.5	1.0 ～ -1.0	2.5 ～ -2.5		2.5	1.0 ～ -1.0	2.5 ～ -2.5		2.5	1.0 ～ -1.0	2.5 ～ -2.5		2.5	1.0 ～ -1.0	2.5 ～ -2.5																																			
		検討・確認事項、検討・確認内容 (工事の確認、指示事項の確認)							0.0 ～ 0.0				0.0 ～ 0.0																																											
		打ち合わせ資料の内容	1	1.0 ～ -1.0	1.0 ～ -1.0		2.5	1.0 ～ -1.0	2.5 ～ -2.5		2.5	1.0 ～ -1.0	2.5 ～ -2.5		2.5	1.0 ～ -1.0	2.5 ～ -2.5		2.5	1.0 ～ -1.0	2.5 ～ -2.5																																			
		十分な技術力	1	1.0 ～ -1.0	1.0 ～ -1.0		2.5	1.0 ～ -1.0	2.5 ～ -2.5		2.5	1.0 ～ -1.0	2.5 ～ -2.5		2.5	1.0 ～ -1.0	2.5 ～ -2.5		2.5	1.0 ～ -1.0	2.5 ～ -2.5																																			
	小 計	5		5.0 ～ -5.0 ①=	10		10.0 ～ -10.0 ②=	10		10.0 ～ -10.0 ②=	10		10.0 ～ -10.0 ②=	10		10.0 ～ -10.0 ②=	10		10.0 ～ -10.0 ②=	10		10.0 ～ -10.0 ②=	③=	10		10.0 ～ -10.0 ④=	20		20.0 ～ -20.0 ⑤=	⑥=																										
プロセス評価	管理技術力	迅速性、 工程管理能力、 調整能力	実施手順、工程計画	2	1.0 ～ -1.0	2.0 ～ -2.0																③= ①*0.2+ Σ ②*0.8	7.5	1.0 ～ -1.0	7.5 ～ -7.5	10	1.0 ～ -1.0	10.0 ～ -10.0	⑥= (③*0.8+ ④*0.2)*0.8 +⑤*0.2	/ 7.30																										
			実施体制	2	1.0 ～ -1.0	2.0 ～ -2.0																																																		
			打合せ内容の理解、記録	1	1.0 ～ -1.0	1.0 ～ -1.0		2	1.0 ～ -1.0	2.0 ～ -2.0		2	1.0 ～ -1.0	2.0 ～ -2.0		2	1.0 ～ -1.0	2.0 ～ -2.0		2	1.0 ～ -1.0										2.0 ～ -2.0																									
			内部関係者(業務委託者内)への情報伝達	1	1.0 ～ -1.0	1.0 ～ -1.0																																																		
			工程管理	2	1.0 ～ -1.0	2.0 ～ -2.0		4	1.0 ～ -1.0	4.0 ～ -4.0		4	1.0 ～ -1.0	4.0 ～ -4.0		4	1.0 ～ -1.0	4.0 ～ -4.0		4	1.0 ～ -1.0										4.0 ～ -4.0																									
		小 計	8		8.0 ～ -8.0 ①=	6		6.0 ～ -6.0 ②=	6		6.0 ～ -6.0 ②=	6		6.0 ～ -6.0 ②=	6		6.0 ～ -6.0 ②=	6		6.0 ～ -6.0 ②=	6		6.0 ～ -6.0 ②=	③=	7.5		7.5 ～ -7.5 ④=	10		10.0 ～ -10.0 ⑤=	⑥=																									
		品質管理能力	ミス防止の実施	4	1.0 ～ -1.0	4.0 ～ -4.0																	③=①*0.2								⑥= (③*0.8)*0.8	/ 0.51																								
			小 計	4		4.0 ～ -4.0 ①=																	③=								⑥=																									
		弾力性等	当初工程計画の変更[加点評価]	2	1.0 ～ 0.0	2.0 ～ 0.0		2	1.0 ～ 0.0	2.0 ～ 0.0		2	1.0 ～ 0.0	2.0 ～ 0.0		2	1.0 ～ 0.0	2.0 ～ 0.0		2	1.0 ～ 0.0	2.0 ～ 0.0		③=①*0.2 +Σ ②*0.8								⑥= (③*0.8)*0.8	/ 1.28																							
	小 計		2		2.0 ～ 0.0 ①=	2		2.0 ～ 0.0 ②=	2		2.0 ～ 0.0 ②=	2		2.0 ～ 0.0 ②=	2		2.0 ～ 0.0 ②=	2		2.0 ～ 0.0 ②=	2		2.0 ～ 0.0 ②=	③=						⑥=																										
	コミュニケーション 「取 社 会 性 」	説明力、 表現力、 協調性	理解しやすい説明・表現	1	1.0 ～ -1.0	1.0 ～ -1.0		1	1.0 ～ -1.0	1.0 ～ -1.0		1	1.0 ～ -1.0	1.0 ～ -1.0		1	1.0 ～ -1.0	1.0 ～ -1.0		1	1.0 ～ -1.0	1.0 ～ -1.0		③=①*0.2 +Σ ②*0.8								⑥= (③*0.8)*0.8	/ 1.79																							
			円滑な業務遂行への努力[加点評価]	1	1.0 ～ 0.0	1.0 ～ 0.0		2	1.0 ～ 0.0	2.0 ～ 0.0		2	1.0 ～ 0.0	2.0 ～ 0.0		2	1.0 ～ 0.0	2.0 ～ 0.0		2	1.0 ～ 0.0	2.0 ～ 0.0																																		
小 計			2		2.0 ～ -1.0 ①=	3		3.0 ～ -1.0 ②=	3		3.0 ～ -1.0 ②=	3		3.0 ～ -1.0 ②=	3		3.0 ～ -1.0 ②=	3		3.0 ～ -1.0 ②=	3		3.0 ～ -1.0 ②=	③=							⑥=																									
責任感、積極性		責任感の強さ、積極性	2	1.0 ～ -1.0	2.0 ～ -2.0		2	1.0 ～ -1.0	2.0 ～ -2.0		2	1.0 ～ -1.0	2.0 ～ -2.0		2	1.0 ～ -1.0	2.0 ～ -2.0		2	1.0 ～ -1.0	2.0 ～ -2.0		③=①*0.2 +Σ ②*0.8	10	1.0 ～ -1.0	10.0 ～ -10.0					⑥=-(③*0.8+ ④*0.2)*0.8 +⑤*0.2	/ 2.88																								
		小 計	2		2.0 ～ -2.0 ①=	2		2.0 ～ -2.0 ②=	2		2.0 ～ -2.0 ②=	2		2.0 ～ -2.0 ②=	2		2.0 ～ -2.0 ②=	2		2.0 ～ -2.0 ②=	2		2.0 ～ -2.0 ②=	③=	10		10.0 ～ -10.0 ④=		⑥=																											
		結果評価	施工計画の確認検討、 施工図等の検討、 工事の確認	目的の達成度	4	1.0 ～ -1.0	4.0 ～ -4.0		4	1.0 ～ -1.0	4.0 ～ -4.0		4	1.0 ～ -1.0	4.0 ～ -4.0		4	1.0 ～ -1.0	4.0 ～ -4.0		4	1.0 ～ -1.0	4.0 ～ -4.0		③= ①*0.2+ Σ ②*0.8	7.5	1.0 ～ -1.0	7.5 ～ -7.5	5	1.0 ～ -1.0	5.0 ～ -5.0		⑥= (③*0.8+ ④*0.2)*0.8 +⑤*0.2	/ 9.88																						
業務報告書等の的確な取りまとめ	4			1.0 ～ -1.0	4.0 ～ -4.0		4	1.0 ～ -1.0	4.0 ～ -4.0		4	1.0 ～ -1.0	4.0 ～ -4.0		4	1.0 ～ -1.0	4.0 ～ -4.0		4	1.0 ～ -1.0	4.0 ～ -4.0																																			
ミスの有無	4			1.0 ～ -1.0	4.0 ～ -4.0		4	1.0 ～ -1.0	4.0 ～ -4.0		4	1.0 ～ -1.0	4.0 ～ -4.0		4	1.0 ～ -1.0	4.0 ～ -4.0		4	1.0 ～ -1.0	4.0 ～ -4.0																																			
小 計	12				12.0 ～ -12.0 ①=	12		12.0 ～ -12.0 ②=	12		12.0 ～ -12.0 ②=	12		12.0 ～ -12.0 ②=	12		12.0 ～ -12.0 ②=	12		12.0 ～ -12.0 ②=	12		12.0 ～ -12.0 ②=	③=								7.5				7.5 ～ -7.5 ④=	5		5.0 ～ -5.0 ⑤=	⑥=																
総合評定点の算定			⑦得点(加減点) / ⑧配点 (注2)																						/ 35.0																															
			⑨評定点＝60＋40×⑦÷⑧ (注3)																																																					
			⑩＝事故等による減点(業務遂行段階を対象とする)※総括監督員採点																																																					
			⑪＝債務の不履行又は債務の不履行と共に損害賠償の請求等の措置を行った場合の減点※総括監督員採点																																																					
			⑫総合評定点＝⑨＋⑩＋⑪																																																					
所 見 (必ず記載すること)			(担当監督員[管理・統括])										(担当監督員[機械設備])										■ は、評価対象外。 注 1. Σ ②は、②に担当監督員分野比率を乗じた合計とする。 <table><tr><th colspan="2">担当監督員分野比率</th></tr><tr><td>建築意匠</td><td>0.42</td></tr><tr><td>建築構造</td><td>0.18</td></tr><tr><td>電気設備</td><td>0.20</td></tr><tr><td>機械設備</td><td>0.20</td></tr></table> 2. 小数第二位を四捨五入し、小数第一位とする。 3. 小数第一位を四捨五入し、整数とする。				担当監督員分野比率		建築意匠	0.42	建築構造	0.18	電気設備	0.20	機械設備	0.20	(担当監督員[意匠])										(主任監督員)									
			担当監督員分野比率																																																					
			建築意匠	0.42																																																				
			建築構造	0.18																																																				
			電気設備	0.20																																																				
機械設備	0.20																																																							
(担当監督員[構造])										(総括監督員)																																														
(担当監督員[電気設備])										(検査員)																																														

採点表

(Ⅰ) 土木設計(概略・予備・詳細設計)

[担当監督員]

(1/5)

評価項目		評価の 視点	配点	得 点 率					得点	評価細目
				優 標 準 劣						
				1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
プロセス評価	提案力、 改善力 〔加点点評価〕	業務着手段階における業務特性等の考慮	20	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「1.0」						☐ ・当該業務の仕様や発注者からの指示等を満たす提案がなされた。 ☐ ・当該業務の特性を考慮しつつ、新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に関する提案がなされた。
		業務遂行段階における提案	40	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「1.0」						☐ ・業務遂行段階で新たな視点からの提案がなされた。 ☐ ・関連する多面的な視点から検討された、あるいは高度な技術レベルに基づく提案がなされた。
		業務遂行上必要となる課題の提案	20	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「1.0」						☐ ・当該業務で不足する課題が抽出された。 ☐ ・検討課題と共に今後実施すべき検討事項・方針等が提案された。
		業務内容等改善の提案	20	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「1.0」						☐ ・業務の作業効率を向上させる提案が、自主的になされた。 ☐ ・業務の内容・精度を向上させる提案が、自主的になされた。
		小 計	100	①						
	業務執行 技術力	目的と内容の理解	20	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・業務計画書に必要事項が記載されていた。 ☐ ・当該業務の目的、内容が理解されていた。 ☐ ・業務計画書の実施方法等に、業務内容を具体化する記述があった。 ☐ ・特記仕様書等に示された当該業務と関連する他の業務、事業が理解されていた。
		必要情報の把握	20	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・業務着手時点において、適切に資料等が整備された。 ☐ ・業務実施の各段階で、入手した資料が理解・活用されていた。 ☐ ・業務遂行段階で、新たに必要とされた情報収集の努力がなされていた。 ☐ ・業務遂行段階で、当該業務に有意な情報が自主的に提供された。
		検討項目、 検討手法	20	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・検討項目は、特記仕様書等の契約図書の項目を満足していた。 ☐ ・採用された検討手法の技術的内容は、業務の目的に適合していた。 ☐ ・業務目的に照らし必要な検討項目が不足なく設定され、検討項目間の整合も図られていた。 ☐ ・提案された検討手法は、従来技術を応用・統合化あるいは先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。
		打ち合わせ資料の内容 〔減点点評価〕	20	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.2」						☐ ・打ち合わせ資料に、業務の各段階で必要とされる内容が盛り込まれていなかった。 ☐ ・打ち合わせ資料に大きなミスがあった。
		十分な技術力	20	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・業務に必要な技術基準・マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されていた。 ☐ ・特記仕様書等に示された当該業務固有の条件に対応可能な十分な技術力を有していた。 ☐ ・業務遂行段階において発注者から新たに指示された事項について十分満足できる解決が図られていた。 ☐ ・新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に十分対応できる能力を有していた。
		小 計	100	①						

採点表

(Ⅰ) 土木設計(概略・予備・詳細設計)

[担当監督員]

(2/5)

評価項目				評価の 視点	配点	得点率					得点	評価細目	
						標準							
						1.0	0.8	0.6	0.4	0.2			
プロセス評価	専門技術力	(設計業務を対象に評定する。イ、ロのいずれかを選択する。)	施工時への配慮 〔設計時評価〕	イ・『概略・予備設計』の場合	施工に関する一般的な知識	60	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・設計、図面作成において留意すべき、施工に関する一般的な知識を有していた。 ☐ ・施工方法の検討において一般的に留意すべき点を理解していた。 ☐ ・施工方法の内容及び長所・短所に関する一般的な知識を有していた。 ☐ ・施工方法が周辺環境におよぼす一般的な影響を理解していた。
					施工条件の把握	40	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・当該地点における施工上の制約条件や問題点を把握していた。 ☐ ・当該地域の環境特性を把握していた。 ☐ ・担当者の施工に係わる要求事項を把握していた。 ☐ ・契約図書及び発注者に指示された施工に係わる関係機関等の情報を把握した。
				小 計	100	①							
				ロ・『詳細設計』の場合	施工に関する一般的な知識	40	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・設計、図面作成において留意すべき、施工に関する一般的な知識を有していた。 ☐ ・施工方法の検討において一般的に留意すべき点を理解していた。 ☐ ・施工方法の内容及び長所・短所に関する一般的な知識を有していた。 ☐ ・施工方法が周辺環境におよぼす一般的な影響を理解していた。
					施工条件の把握	30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・当該地点における施工上の制約条件や問題点を把握していた。 ☐ ・当該地域の環境特性を把握していた。 ☐ ・担当者の施工に係わる要求事項を把握していた。 ☐ ・契約図書及び発注者に指示された施工に係わる関係機関等の情報を把握していた。
			施工計画 (施工方法、仮設備計画)		30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・必要事項を記載した施工計画書が提案された。 ☐ ・施工条件を的確に踏まえた施工方法、仮設備計画が提案された。 ☐ ・工事が周辺環境に及ぼす影響を考慮した上で、施工方法、仮設備計画が提案された。 ☐ ・当該工事箇所における施工上の留意事項が、重要度別かつ施工段階毎に適切に整理する提案がなされた。	
			小 計	100	①								
			コスト把握能力 (設計業務を対象に評定する。)	コスト把握能力	100	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・工事費に関するコスト把握能力を有していた。 ☐ ・現地条件などの固有条件がコストに及ぼす影響を理解していた。 ☐ ・コスト削減に係わる提案があった。 ☐ ・ライフサイクルコストや新技術・新工法等の総合的なコストを念頭においたコスト削減に係わる提案があった。	
				小 計	100	①							

採点表

(1) 土木設計(概略・予備・詳細設計)

[担当監督員]

(3/5)

評価項目		評価の 視点	配点	得点率					得点	評価細目	
				標準							
				優		標準		劣			
				1.0	0.8	0.6	0.4	0.2			
プロセス評価	管理技術力	工程管理能力 〔減点評価〕	実施手順、 工程計画	30	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.2」						☐ ・契約締結後14日以内に業務日程表が提出されないなど、速やかに業務着手がなされなかった。 ☐ ・業務実施方針及び業務日程表には、設計図書に示された事項が適切に反映されていなかった。
			実施体制	10	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.2」						☐ ・契約図書に基づき、管理技術者等届け及び業務計画書が提出されなかった。 ☐ ・業務計画書に示された業務組織表に基づく実施体制により、業務が履行されなかった。
			打合せ内容 の理解、記録	10	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.2」						☐ ・打合せ記録簿が提出されなかった。 ☐ ・打合せ記録簿の記載内容が打ち合わせ結果を適切に反映してなかった。
			内部関係者 への情報伝達	10	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.2」						☐ ・受注者内の意思疎通が不十分であり、指示や打ち合わせ事項が資料等に反映されなかった。 ☐ ・受注者内の意志疎通が不十分であり、同様な指示を何度も実施した。
			工程管理	40	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.2」						☐ ・工程に遅れが目立ち、履行期限内に納品されない恐れがあり、繰り返し指示を行った。（発注者側に遅延要因がある場合を除く） ☐ ・工程が業務計画どおりでなく、関連する他の業務・事業等に影響を及ぼした。（発注者側に遅延要因がある場合を除く）
			小 計	100	①						
	品質管理能力	イ・『詳細設計』 以外の 場合	ミス防止の実 施 〔加点評価〕	100	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「1.0」						☐ ・第3者（管理技術者、担当者、照査技術者以外）のチェック等自主的な品質管理の努力がなされていた。 ☐ ・品質管理のためのシステム（ex.IS09001）が構築されている部署で業務を行った。
			小 計	100	①						
		ロ・『詳細設計』の 場合	ミス防止の実 施	100	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・業務計画書等に、照査体制が記載されていた。 ☐ ・業務計画書等に照査担当者が配置されていた。 ☐ ・チェックリスト等の品質管理の記録により、照査が実施されたことを確認できた。 ☐ ・品質管理のためのシステム（ex.IS09001）が構築されている部署で業務を行った。
			小 計	100	①						

採点表

(Ⅰ)土木設計(概略・予備・詳細設計)

[担当監督員]

(4/5)

評価項目			評価の 視点	配点	得 点 率					得点	評価細目
					優 標準 劣						
					1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
プロセス評価	管理技術力	迅速性、 弾力性、 調整能力	当初計画の 変更 [加点点評価]	40	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「1.0」						☐ ・業務遂行中に生じた、当初計画からの変更要請に迅速に対応した。 ☐ ・その結果生じた検討内容が特に優れていた。
			関連事業者 間の調整 [加点点評価]	30	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「1.0」						☐ ・発注者からの指示に基づき、関連事業者間（道路管理者・占用事業者等）の調整のための 資料が円滑に作成された。 ☐ ・作成された資料の内容が特に良くとりまとめられていた。
			地元住民との 合意形成 [加点点評価]	30	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「1.0」						☐ ・発注者からの指示に基づき、地元住民との合意形成のための資料が円滑に作成された。 ☐ ・作成された資料の内容が特に良くとりまとめられていた。
		小 計	100	①							
	コミュニケーション力	説明力、 プレゼン テーション力、 協調性	理解しやすい 説明・プレ ゼンテーシ ョン（資料）	30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・日時・場所・参加者・目次・頁等が明記された資料となっていた。 ☐ ・図表等を用いることにより、理解しやすい資料となっていた。 ☐ ・資料の内容が簡潔明瞭であり、理解しやすい資料となっていた。 ☐ ・資料の要約が作成されており、容易に内容を捉えることができた。
			理解しやすい 説明・プレ ゼンテーシ ョン（対応）	30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・打合せ開始時に、打合せの趣旨・目的が説明された。 ☐ ・質問に対する確かな回答がなされた、又は即答できない場合には回答期限が提示された。 ☐ ・一般論と当該業務固有の議論が明確に区別されていた。 ☐ ・曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。
			説明を 補う努力	20	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・説明の際に、相手の理解度を把握するよう努力されていた。 ☐ ・説明当事者の説明が不十分の場合、他のメンバーにより補足説明がなされた、若しくは説明 が十分であり、補足説明を要しなかった。 ☐ ・相手の理解度に応じ、説明のポイント・速さ等が工夫されていた。 ☐ ・説明を補足するための的確な資料が、周到に用意されていた。
			円滑な 業務遂行 への努力 [加点点評価]	20	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「1.0」						☐ ・適切に業務の進捗状況等が発注者に報告されていた。 ☐ ・業務遂行上、課題や問題点が発生した場合に迅速に報告がなされた。
			小 計	100	①						

採点表

(Ⅰ)土木設計(概略・予備・詳細設計)

[担当監督員]

(5/5)

評価項目			評価の 視点	配点	得点率					得点	評価細目
					優 標 準 劣						
					1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
プロセス評価	取組姿勢	責任感、積極性、倫理観	責任感、積極性	100	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・管理技術者、照査技術者、担当技術者として、責任逃れの言動はなかった。 ☐ ・打合せにおいて確認・解決すべき事項について見逃しがなかった。 ☐ ・業務遂行に誤りがないよう、必要に応じ協議事項・決定事項等が再確認されていた。 ☐ ・業務遂行段階において不明な点が生じた場合、問い合わせや確認が迅速になされた。
			小 計	100	①						
結果評価	成果品の品質	目的の達成度	40	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・契約図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 ☐ ・業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 ☐ ・業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。 ☐ ・高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。	
		的確なとりまとめ	30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・契約図書にある検討項目、業務遂行段階での提示事項を、漏れなく取りまとめている。 ☐ ・理解しづらい文章表現等は、ほとんど認められない。 ☐ ・簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫がみられ読みやすい。 ☐ ・契約図書にある事項、業務遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。	
		ミスの有無	30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・成果品の品質に大きな影響を及ぼすような、重大なミスはなかった。 ☐ ・誤字・脱字、表記・計算ミスはわずかに認められたが、簡易に修正できる軽微なものであった若しくはミスがなかった。 ☐ ・修正が必要なミスはなかった。 ☐ ・ミスはなく、必要書類等も完備されていた。	
		小 計	100	①							

採点表

(Ⅱ-1) 建築設計(基本設計)

[担当監督員]

(1/4)

評価項目		評価の 視点	配点	得 点 率					得点	評価細目
				標準						
				優			劣			
				1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
プロセス評価	提案力、 改善力 〔加点評価〕	業務着手段階における業務特性等の考慮	20	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「1.0」						☐ ・当該業務の仕様や発注者からの指示等を満たす提案がなされた。 ☐ ・当該業務の特性を考慮しつつ、新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に関する提案がなされた。
		業務遂行段階における提案	40	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「1.0」						☐ ・業務遂行段階で新たな視点からの提案がなされた。 ☐ ・関連する多面的な視点から検討された、あるいは高度な技術レベルに基づく提案がなされた。
		業務遂行上必要となる課題の提案	20	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「1.0」						☐ ・当該業務で不足する課題が抽出されていた。 ☐ ・検討課題と共に今後実施すべき検討事項・方針等が提案された。
		業務内容等改善の提案	20	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「1.0」						☐ ・業務の作業効率を向上させる提案が、自主的になされた。 ☐ ・業務の内容・精度を向上させる提案が、自主的になされた。
		小 計	100	①						
	業務執行 技術力	目的と内容の理解	20	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・関連業務も含めた事業全体の特性が考慮されていた。 ☐ ・業務委託実施体制届けに必要な事項が記載されていた。 ☐ ・当該業務の目的、内容が理解されていた。 ☐ ・当該業務と他の業務、事業の関連が理解されていた。
		必要情報の把握	20	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・業務着手時点において、適切に資料等が整備された。 ☐ ・業務実施の各段階で、入手した資料が理解・活用されていた。 ☐ ・業務遂行段階で、新たに必要とされた情報収集の努力がなされていた。 ☐ ・業務遂行段階で、当該業務に有意な情報が自主的に提供された。
		検討項目、 検討手法	20	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・検討項目は、特記仕様書等の契約図書の項目を満足していた。 ☐ ・採用された検討手法の技術的内容は、業務の目的に適合していた。 ☐ ・業務目的に照らし必要な検討項目が不足なく設定され、検討項目間の整合も図られていた。 ☐ ・採用された検討手法は、従来技術を応用・統合化あるいは先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。
		打ち合わせ資料の内容 〔減点評価〕	20	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.2」						☐ ・打ち合わせ資料に、業務の各段階で必要とされる内容が盛り込まれていなかった。 ☐ ・打ち合わせ資料に大きなミスがあった。
		十分な技術力	20	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・業務に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されていた。 ☐ ・特記仕様書等に示された当該業務固有の条件に対応可能な十分な技術力を有していた。 ☐ ・業務遂行段階において発注者から新たに指示された事項について十分満足できる解決が図られていた。 ☐ ・新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に十分対応できる能力を有していた。
		小 計	100	①						

採点表

(Ⅱ-1) 建築設計(基本設計)

[担当監督員]

(2/4)

評価項目			評価の 視点	配点	得点率					得点	評価細目
					優 標 準 劣						
					1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
プロセス評価	専門技術力	施工時への 配慮 〔設計時評価〕 (設計業務を 対象に評定 する。)	施工に関する一般的な 知識	100	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・設計、図面作成において留意すべき、施工に関する一般的な知識を有していた。 ☐ ・当該地点における施工上の制約条件や問題点を把握していた。 ☐ ・当該地域の環境特性を把握していた。 ☐ ・新技術等に関する知識を持ち、高度な設計を行った。
		小 計		100	①						
		コスト 把握能力 (設計業務を 対象に評定 する。)	コスト把握 能力	100	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・工事費に関するコスト把握能力を有していた。 ☐ ・ライフサイクルコスト(建設費、運用管理費及び解体再利用費)も含めたコスト把握力を有していた。 ☐ ・コスト削減に係わる提案があった。 ☐ ・ライフサイクルコスト等の総合的なコストを念頭においたコスト削減に係わる提案があった。
		小 計		100	①						
プロセス評価	管理技術力	工程管理 能力 〔減点評価〕	実施手順、 工程計画	30	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.2」						☐ ・契約締結後14日以内に業務日程表が提出されないなど、速やかに業務着手がなされなかった。 ☐ ・業務日程表には、設計図書に示された事項が適切に反映されていなかった。
			実施体制	10	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.2」						☐ ・契約図書に基づき、管理技術者届け及び業務委託実施体制届けが提出されなかった。 ☐ ・業務委託実施体制届けに示された実施体制により、業務が履行されなかった。
			打合せ内容 の理解、記 録	10	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.2」						☐ ・打合せ記録が提出されなかった。 ☐ ・打合せ記録は、打合せ結果を適切に反映していなかった。
			内部関係者 への情報伝 達	10	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.2」						☐ ・受注者内の意思疎通が不十分であり、指示や打ち合わせ事項が資料等に反映されなかった。 ☐ ・受注者内の意志疎通が不十分であり、同様な指示を何度も実施した。
			工程管理	40	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.2」						☐ ・工程に遅れが目立ち、履行期限内に納品されない恐れがあり、繰り返し指示を行った。(発注者側に遅延要因がある場合を除く) ☐ ・工程管理が十分でなく、関連する他の業務・事業等に影響を及ぼした。(発注者側に遅延要因がある場合を除く)
		小 計		100	①						
		品質管理 能力	ミス防止の実 施 〔加点評価〕	100	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「1.0」						☐ ・第3者(管理技術者、担当者以外)のチェック等自主的な品質管理の努力がなされていた。 ☐ ・品質管理のためのシステム(ex.IS9001)が構築されている部署で業務を行った。
		小 計		100	①						

評価項目		評価の 視点	配点	得 点 率					得点	評価細目
				優 標 準 劣						
				1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
管理技術力	迅速性、 弾力性、 調整能力	当初計画 の変更 [加点点評価]	20	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「1.0」						☐ ・業務遂行中に生じた、当初計画からの変更要請に迅速に対応した。 ☐ ・その結果生じた検討内容が特に優れていた。
		関連事業者 間の調整 [加点点評価]	10	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「1.0」						☐ ・発注者からの指示に基づき、関連事業者間（道路管理者・占用事業者等）の調整のための 資料が円滑に作成された。 ☐ ・作成された資料の内容が特に良くとりまとめられていた。
		地元住民との 合意形成 [加点点評価]	10	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「1.0」						☐ ・発注者からの指示に基づき、地元住民との合意形成のための資料が円滑に作成された。 ☐ ・作成された資料の内容が特に良くとりまとめられていた。
		分野間の調 整（建築設 計対象） [加点点評価]	30	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「1.0」						☐ ・全体業務を把握し、分野間（意匠、構造、設備）の調整が確実に行われた。 ☐ ・質疑、協議事項に対して、打合せ内容の関係者への連絡が徹底されていた。
		関係法令の 理解、特定 行政庁との 調整（建築 設計対象）	30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・関係法規等を十分に理解していた。 ☐ ・発注者からの指示により、関係法規の検討を行った。 ☐ ・特定行政庁との調整を積極的に行った。 ☐ ・特定行政庁との調整を十分に行った。
	小 計		100	①						
コミュニケーション力	説明力、 プレゼン テーション力、 協調性	理解しやす い説明・プレ ゼンテーション （資料）	30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・日時・場所・参加者・目次・頁等が明記された資料となっていた。 ☐ ・図表等を用いることにより、理解しやすい資料となっていた。 ☐ ・資料の内容が簡潔明瞭であり、理解しやすい資料となっていた。 ☐ ・資料の要約が作成されており、容易に内容を捉えることができた。
		理解しやす い説明・プレ ゼンテーション （対応）	30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・打合せ開始時に、打合せの趣旨・目的が説明された。 ☐ ・質問に対する的確な回答がなされた、又は即答できない場合には回答期限が提示された。 ☐ ・一般論と当該業務固有の議論が明確に区別されていた。 ☐ ・曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。
		説明を 補う努力	20	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・説明の際に、相手の理解度を把握するよう努力されていた。 ☐ ・説明当事者の説明が不十分の場合、他のメンバーにより補足説明がなされた、若しくは説明 が十分であり、補足説明を要しなかった。 ☐ ・相手の理解度に応じ、説明のポイント・速さ等が工夫されていた。 ☐ ・説明を補足するための的確な資料が、周到に用意されていた。
		円滑な 業務遂行 への努力 [加点点評価]	20	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「1.0」						☐ ・適切に業務の進捗状況等が発注者に報告されていた。 ☐ ・業務遂行上、課題や問題点が発生した場合に迅速に報告がなされた。
	小 計		100	①						

採点表

(Ⅱ-1) 建築設計(基本設計)

[担当監督員]

(4/4)

評価項目			評価の 視点	配点	得点率					得点	評価細目
					優 標 準 劣						
					1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
プロセス評価	取組姿勢	責任感、積極性、倫理観	責任感、積極性	100	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」 -----						☐ ・管理技術者、担当技術者として、責任逃れの言動はなかった。 ☐ ・打合せにおいて確認・解決すべき事項について見逃しがなかった。 ☐ ・業務遂行に誤りがないよう、必要に応じ協議事項・決定事項等が再確認されていた。 ☐ ・業務遂行段階において不明な点が生じた場合、問い合わせや確認が迅速になされた。
			小 計	100	①						
結果評価	成果品の品質	目的の達成度	40	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」 -----						☐ ・契約図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 ☐ ・業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 ☐ ・業務成果は、図面等の不整合がなく、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。 ☐ ・高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。	
		的確なとりまとめ	30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」 -----						☐ ・契約図書にある検討項目、業務遂行段階での提示事項を、漏れなく取りまとめている。 ☐ ・理解しづらい文章表現等は、ほとんど認められない。 ☐ ・簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫がみられ読みやすい。 ☐ ・契約図書にある事項、業務遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。	
		ミスの有無	30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」 -----						☐ ・成果品の品質に大きな影響を及ぼすような、重大なミスはなかった。 ☐ ・誤字・脱字、表記・計算ミスはわずかに認められたが、簡易に修正できる軽微なものであった若しくはミスがなかった。 ☐ ・修正が必要なミスはなかった。 ☐ ・ミスはなく、必要書類等も完備されていた。	
		小 計	100	①							

採点表

(Ⅱ-2) 建築設計(実施設計)

[担当監督員]

(1/4)

評価項目		評価の 視点	配点	得 点 率					得点	評価細目
				優 標 準 劣						
				1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
プロセス評価	提案力、 改善力 [加点評価]	業務着手段階における業務特性等の考慮	20	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「1.0」						☐ ・当該業務の仕様や発注者からの指示等を満たす提案がなされた。 ☐ ・当該業務の特性を考慮しつつ、新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に関する提案がなされた。
		業務遂行段階における提案	40	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「1.0」						☐ ・業務遂行段階で新たな視点からの提案がなされた。 ☐ ・関連する多面的な視点から検討された、あるいは高度な技術レベルに基づく提案がなされた。
		業務遂行上必要となる課題の提案	20	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「1.0」						☐ ・当該業務で不足する課題が抽出されていた。 ☐ ・検討課題と共に今後実施すべき検討事項・方針等が提案された。
		業務内容等改善の提案	20	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「1.0」						☐ ・業務の作業効率を向上させる提案が、自主的になされた。 ☐ ・業務の内容・精度を向上させる提案が、自主的になされた。
		小 計	100	①						
	業務執行 技術力	目的と内容の理解	12	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・関連業務も含めた事業全体の特性が考慮されていた。 ☐ ・業務委託実施体制届けに必要な事項が記載されていた。 ☐ ・当該業務の目的、内容が理解されていた。 ☐ ・当該業務と他の業務、事業の関連が理解されていた。
		必要情報の把握	12	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・業務着手時点において、適切に資料等が整備された。 ☐ ・業務実施の各段階で、入手した資料が理解・活用されていた。 ☐ ・業務遂行段階で、新たに必要とされた情報収集の努力がなされていた。 ☐ ・業務遂行段階で、当該業務に有意な情報が自主的に提供された。
		検討項目、 検討手法	12	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・検討項目は、特記仕様書等の契約図書の項目を満足していた。 ☐ ・採用された検討手法の技術的内容は、業務の目的に適合していた。 ☐ ・業務目的に照らし必要な検討項目が不足なく設定され、検討項目間の整合も図られていた。 ☐ ・採用された検討手法は、従来技術を応用・統合化あるいは先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。
		打ち合わせ資料の内容 [減点評価]	12	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.2」						☐ ・打ち合わせ資料に、業務の各段階で必要とされる内容が盛り込まれていなかった。 ☐ ・打ち合わせ資料に大きなミスがあった。
		十分な技術力	12	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・業務に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されていた。 ☐ ・特記仕様書等に示された当該業務固有の条件に対応可能な十分な技術力を有していた。 ☐ ・業務遂行段階において発注者から新たに指示された事項について十分満足できる解決が図られていた。 ☐ ・新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に十分対応できる能力を有していた。
		積算技術 (建築実施設計対象)	30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・設計図を正確に読み取る能力が十分であった。 ☐ ・発注者の積算基準等を熟知し、業務に対して十分な技術力を有していた。 ☐ ・仕様書、標準図等の関連図書の内容も十分把握していた。 ☐ ・設計図を十分に理解し、疑問、不整合に対しての質疑が的確であり、設計にも十分反映された。
		営繕積算システム (建築実施設計対象)	10	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・基本操作を習熟していた。 ☐ ・内訳項目及び数量を適正に入力していた。 ☐ ・備考に根拠等の情報が十分に盛り込まれていた。 ☐ ・代価表等が緻密に作成されていた。
	小 計	100	①							

採点表

(Ⅱ-2) 建築設計(実施設計)

[担当監督員]

(2/4)

評価項目		評価の 視点	配点	得 点 率					得点	評価細目	
				優 標 準 劣							
				1.0	0.8	0.6	0.4	0.2			
プロセス評価	専門技術力	施工時への配慮 〔設計時評価〕 (設計業務を対象に評定する。)	施工に関する一般的な知識	60	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・設計、図面作成において留意すべき、施工に関する一般的な知識を有していた。 ☐ ・当該地点における施工上の制約条件や問題点を把握していた。 ☐ ・当該地域の環境特性を把握していた。 ☐ ・新技術等に関する知識を持ち、高度な設計を行った。
			施工計画 (施工方法、仮設備計画)	40	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・施工条件を踏まえた施工方法、仮設備計画が提案された。 ☐ ・工事が周辺環境におよぼす影響を考慮した上で、施工方法、仮設備計画が提案された。 ☐ ・担当者の施工に係わる要求事項を把握していた。 ☐ ・契約図書及び発注者に指示された施工に係わる関係機関等の情報を把握していた。
		小 計		100	①						
		コスト把握能力 (設計業務を対象に評定する。)	コスト把握能力	100	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・工事費に関するコスト把握能力を有していた。 ☐ ・ライフサイクルコスト(建設費、運用管理費及び解体再利用費)も含めたコスト把握力を有していた。 ☐ ・コスト削減に係わる提案があった。 ☐ ・ライフサイクルコスト等の総合的なコストを念頭においたコスト削減に係わる提案があった。
			小 計		100	①					
	管理技術力	工程管理能力 〔減点評価〕	実施手順、 工程計画	30	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.2」						☐ ・契約締結後14日以内に業務日程表が提出されないなど、速やかに業務着手がなされなかった。 ☐ ・業務日程表には、設計図書に示された事項が適切に反映されていなかった。
			実施体制	10	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.2」						☐ ・契約図書に基づき、管理技術者届け及び業務委託実施体制届けが提出されなかった。 ☐ ・業務委託実施体制届けに示された実施体制により、業務が履行されなかった。
			打合せ内容の 理解、記録	10	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.2」						☐ ・打合せ記録が提出されなかった。 ☐ ・打合せ記録は、打合せ結果を適切に反映していなかった。
			内部関係者 への情報伝達	10	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.2」						☐ ・受注者内の意思疎通が不十分であり、指示や打ち合わせ事項が資料等に反映されなかった。 ☐ ・受注者内の意志疎通が不十分であり、同様な指示を何度も実施した。
			工程管理	40	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.2」						☐ ・工程に遅れが目立ち、履行期限内に納品されない恐れがあり、繰り返し指示を行った。(発注者側に遅延要因がある場合を除く) ☐ ・工程管理が十分でなく、関連する他の業務・事業等に影響を及ぼした。(発注者側に遅延要因がある場合を除く)
		小 計		100	①						
		品質管理能力	ミス防止の実 施 〔加点評価〕	100	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「1.0」						☐ ・第3者(管理技術者、担当者以外)のチェック等自主的な品質管理の努力がなされていた。 ☐ ・品質管理のためのシステム(ex.ISO9001)が構築されている部署で業務を行った。
	小 計		100	①							

評価項目		評価の 視点	配点	得点率					得点	評価細目
				標準						
				1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
管理技術力	迅速性、 弾力性、 調整能力	当初計画の 変更 [加点評価]	20	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「1.0」						☐ ・業務遂行中に生じた、当初計画からの変更要請に迅速に対応した。 ☐ ・その結果生じた検討内容が特に優れていた。
		関連事業者 間の調整 [加点評価]	10	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「1.0」						☐ ・発注者からの指示に基づき、関連事業者間（道路管理者・占用事業者等）の調整のための 資料が円滑に作成された。 ☐ ・作成された資料の内容が特に良くとりまとめられていた。
		地元住民との 合意形成 [加点評価]	10	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「1.0」						☐ ・発注者からの指示に基づき、地元住民との合意形成のための資料が円滑に作成された。 ☐ ・作成された資料の内容が特に良くとりまとめられていた。
		分野間の調 整（建築設 計対象） [加点評価]	30	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「1.0」						☐ ・全体業務を把握し、分野間（意匠、構造、設備）の調整が確実に行われた。 ☐ ・質疑、協議事項に対して、打合せ内容の関係者への連絡が徹底されていた。
		関係法令の 理解、特定 行政庁との 調整（建築 設計対象）	30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・関係法規等を十分に理解していた。 ☐ ・発注者からの指示により、関係法規の検討を行った。 ☐ ・特定行政庁との調整を積極的に行った。 ☐ ・特定行政庁との調整を十分に行った。
	小 計	100	①							
	コミュニケーション力	説明力、 プレゼン テーション力、 協調性	理解しやすい説明・プレ ゼンテーション （資料）	30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					
理解しやすい説明・プレ ゼンテーション （対応）			30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・打合せ開始時に、打合せの趣旨・目的が説明された。 ☐ ・質問に対する確な回答がなされた、又は即答できない場合には回答期限が提示された。 ☐ ・一般論と当該業務固有の議論が明確に区別されていた。 ☐ ・曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。
説明を 補う努力			20	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・説明の際に、相手の理解度を把握するよう努力されていた。 ☐ ・説明当事者の説明が不十分の場合、他のメンバーにより補足説明がなされた、若しくは説明 が十分であり、補足説明を要しなかった。 ☐ ・相手の理解度に応じ、説明のポイント・速さ等が工夫されていた。 ☐ ・説明を補足するための的確な資料が、周到に用意されていた。
円滑な 業務遂行 への努力 [加点評価]			20	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「1.0」						☐ ・適切に業務の進捗状況等が発注者に報告されていた。 ☐ ・業務遂行上、課題や問題点が発生した場合に迅速に報告がなされた。
小 計		100	①							

採点表

(Ⅱ-2) 建築設計(実施設計)

[担当監督員]

(4/4)

評価項目			評価の 視点	配点	得点率					得点	評価細目
					優 標 準 劣						
					1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
プロセス評価	取組姿勢	責任感、積極性、倫理観	責任感、積極性	100	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・管理技術者、担当技術者として、責任逃れの言動はなかった。 ☐ ・打合せにおいて確認・解決すべき事項について見逃しがなかった。 ☐ ・業務遂行に誤りがないよう、必要に応じ協議事項・決定事項等が再確認されていた。 ☐ ・業務遂行段階において不明な点が生じた場合、問い合わせや確認が迅速になされた。
			小 計	100	①						
結果評価	成果品の品質	目的の達成度	40	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・契約図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 ☐ ・業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 ☐ ・業務成果は、図面等の不整合がなく、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。 ☐ ・高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。	
		的確なとりまとめ	20	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・契約図書にある検討項目、業務遂行段階での提示事項を、漏れなく取りまとめている。 ☐ ・理解しづらい文章表現等は、ほとんど認められない。 ☐ ・簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫がみられ読みやすい。 ☐ ・契約図書にある事項、業務遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。	
		ミスの有無	20	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・成果品の品質に大きな影響を及ぼすような、重大なミスはなかった。 ☐ ・誤字・脱字、表記・計算ミスはわずかに認められたが、簡易に修正できる軽微なものであった若しくはミスがなかった。 ☐ ・修正が必要なミスはなかった。 ☐ ・ミスはなく、必要書類等も完備されていた。	
		数量計算・数量計算書等(建築実施設計対象)	20	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・数量計算書等が、基準に準拠していた。 ☐ ・適用基準類では対処できない項目についてなど、検討事項の整理が適切になされていた。 ☐ ・集計表等がわかりやすく編集されており、チェックが容易であった。 ☐ ・数量計算書等は正確で精度が高く、ほとんど修正不要であった。	
		小 計	100	①							

採点表

(Ⅲ)地質調査、単純調査等業務、測量作業、
調査業務、計画業務

[担当監督員]

(1/3)

評価項目		評価の 視点	配点	得 点 率					得点	評価細目	
				優 標 準 劣							
				1.0	0.8	0.6	0.4	0.2			
プロセス評価	専門技術力	提案力、 改善力 〔加点評価〕	業務着手段階における業務特性等の考慮	20	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「1.0」						☐ ・当該業務の仕様や発注者からの指示等を満たす提案がなされた。 ☐ ・当該業務の特性を考慮しつつ、新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に関する提案がなされた。
			業務遂行段階における提案	40	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「1.0」						☐ ・業務遂行段階で新たな視点からの提案がなされた。 ☐ ・関連する多面的な視点から検討された、あるいは高度な技術レベルに基づく提案がなされた。
			業務遂行上必要となる課題の提案	20	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「1.0」						☐ ・当該業務で不足する課題が抽出された。 ☐ ・検討課題と共に今後実施すべき検討事項・方針等が提案された。
			業務内容等改善の提案	20	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「1.0」						☐ ・業務の作業効率を向上させる提案が、自主的になされた。 ☐ ・業務の内容・精度を向上させる提案が、自主的になされた。
		小 計	100	①							
	業務執行技術力	目的と内容の理解	20	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・業務計画書に必要事項が記載されていた。 ☐ ・当該業務の目的、内容が理解されていた。 ☐ ・業務計画書の実施方法等に、業務内容を具体化する記述があった。 ☐ ・特記仕様書等に示された当該業務と関連する他の業務、事業が理解されていた。	
		必要情報の把握	20	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・業務着手時点において、適切に資料等が整備された。 ☐ ・業務実施の各段階で、入手した資料が理解・活用されていた。 ☐ ・業務遂行段階で、新たに必要とされた情報収集の努力がなされていた。 ☐ ・業務遂行段階で、当該業務に有意な情報が自主的に提供された。	
		検討項目、 検討手法	20	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・検討項目は、特記仕様書等の契約図書の項目を満足していた。 ☐ ・採用された検討手法の技術的内容は、業務の目的に適合していた。 ☐ ・業務目的に照らし必要な検討項目が不足なく設定され、検討項目間の整合も図られていた。 ☐ ・提案された検討手法は、従来技術を応用・統合化あるいは先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。	
		打ち合わせ資料の内容 〔減点評価〕	20	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.2」						☐ ・打ち合わせ資料に、業務の各段階で必要とされる内容が盛り込まれていなかった。 ☐ ・打ち合わせ資料に大きなミスがあった。	
		十分な技術力	20	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・業務に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されていた。 ☐ ・特記仕様書等に示された当該業務固有の条件に対応可能な十分な技術力を有していた。 ☐ ・業務遂行段階において発注者から新たに指示された事項について十分満足できる解決が図られていた。 ☐ ・新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に十分対応できる能力を有していた。	
		小 計	100	①							

採点表

(Ⅲ)地質調査、単純調査等業務、測量作業、
調査業務、計画業務

[担当監督員]

(2/3)

評価項目		評価の 視点	配点	得点率					得点	評価細目				
				標準										
				優	標準	劣								
				1.0	0.8	0.6	0.4	0.2						
プロセス評価	管理技術力	工程管理能力 〔減点評価〕	実施手順、 工程計画	30	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.2」						☐ ・契約締結後14日以内に業務日程表が提出されないなど、速やかに業務着手がなされなかった。	☐ ・業務実施方針及び業務日程表には、設計図書に示された事項が適切に反映されていなかった。		
			実施体制	10	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.2」						☐ ・契約図書に基づき、管理技術者等届け及び業務計画書が提出されなかった。	☐ ・業務計画書に示された業務組織表に基づく実施体制により、業務が履行されなかった。		
			打合せ内容の 理解、記録	10	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.2」						☐ ・打合せ記録簿が提出されなかった。	☐ ・打合せ記録簿の記載内容が打ち合わせ結果を適切に反映してなかった。		
			内部関係者 への情報伝達	10	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.2」						☐ ・受注者内の意思疎通が不十分であり、指示や打ち合わせ事項が資料等に反映されなかった。	☐ ・受注者内の意志疎通が不十分であり、同様な指示を何度も実施した。		
			工程管理	40	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.2」						☐ ・工程に遅れが目立ち、履行期限内に納品されない恐れがあり、繰り返し指示を行った。（発注者側に遅延要因がある場合を除く）	☐ ・工程が業務計画どおりでなく、関連する他の業務・事業等に影響を及ぼした。（発注者側に遅延要因がある場合を除く）		
		小 計	100	①										
	品質管理能力	ミス防止の実 施 〔加点評価〕	100	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「1.0」						☐ ・第3者（管理技術者、担当者、照査技術者以外）のチェック等自主的な品質管理の努力がなされていた。	☐ ・品質管理のためのシステム（ex.ISO9001）が構築されている部署で業務を行った。			
		小 計	100	①										
	迅速性、 弾力性、 調整能力	当初計画の 変更 〔加点評価〕	40	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「1.0」						☐ ・業務遂行中に生じた、当初計画からの変更要請に迅速に対応した。	☐ ・その結果生じた検討内容が特に優れていた。			
		関連事業者 間の調整 〔加点評価〕	30	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「1.0」						☐ ・発注者からの指示に基づき、関連事業者間（道路管理者・占用事業者等）の調整のための資料が円滑に作成された。	☐ ・作成された資料の内容が特に良くとりまとめられていた。			
		地元住民と の合意形成 〔加点評価〕	30	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「1.0」						☐ ・発注者からの指示に基づき、地元住民との合意形成のための資料が円滑に作成された。	☐ ・作成された資料の内容が特に良くとりまとめられていた。			
		小 計	100	①										
	コミュニケーション力	説明力、 プレゼン テーション力、 協調性	理解しやすい説明・プレゼン テーション （資料）	30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・日時・場所・参加者・目次・頁等が明記された資料となっていた。	☐ ・図表等を用いることにより、理解しやすい資料となっていた。	☐ ・資料の内容が簡潔明瞭であり、理解しやすい資料となっていた。	☐ ・資料の要約が作成されており、容易に内容を捉えることができた。
			理解しやすい説明・プレゼン テーション （対応）	30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・打合せ開始時に、打合せの趣旨・目的が説明された。	☐ ・質問に対する的確な回答がなされた、又は即答できない場合には回答期限が提示された。	☐ ・一般論と当該業務固有の議論が明確に区別されていた。	☐ ・曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。
			説明を 補う努力	20	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・説明の際に、相手の理解度を把握するよう努力されていた。	☐ ・説明当事者の説明が不十分の場合、他のメンバーにより補足説明がなされた、若しくは説明が十分であり、補足説明を要しなかった。	☐ ・相手の理解度に応じ、説明のポイント・速さ等が工夫されていた。	☐ ・説明を補足するための的確な資料が、周到に用意されていた。
			円滑な 業務遂行 への努力 〔加点評価〕	20	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「1.0」						☐ ・適切に業務の進捗状況等が発注者に報告されていた。	☐ ・業務遂行上、課題や問題点が発生した場合に迅速に報告がなされた。		
			小 計	100	①									

採点表

(Ⅲ) 地質調査、単純調査等業務、測量作業、
調査業務、計画業務

[担当監督員]

(3/3)

評価項目			評価の 視点	配点	得点率						得点	評価細目
					優 標準 劣							
					1.0	0.8	0.6	0.4	0.2			
プロセス評価	取組姿勢	責任感、積極性、倫理観	責任感、積極性	100	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」 -----							☐ ・管理技術者、照査技術者、担当技術者として、責任逃れの言動はなかった。 ☐ ・打合せにおいて確認・解決すべき事項について見逃しがなかった。 ☐ ・業務遂行に誤りがないよう、必要に応じ協議事項・決定事項等が再確認されていた。 ☐ ・業務遂行段階において不明な点が生じた場合、問い合わせや確認が迅速になされた。
			小 計	100	①							
結果評価	成果品の品質	目的の達成度	40	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」 -----							☐ ・契約図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 ☐ ・業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 ☐ ・業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。 ☐ ・高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。	
		的確なとりまとめ	30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」 -----							☐ ・契約図書にある検討項目、業務遂行段階での提示事項を、漏れなく取りまとめている。 ☐ ・理解しづらい文章表現等は、ほとんど認められない。 ☐ ・簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫がみられ読みやすい。 ☐ ・契約図書にある事項、業務遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。	
		ミスの有無	30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」 -----							☐ ・成果品の品質に大きな影響を及ぼすような、重大なミスはなかった。 ☐ ・誤字・脱字、表記・計算ミスはわずかに認められたが、簡易に修正できる軽微なものであった若しくはミスがなかった。 ☐ ・修正が必要なミスはなかった。 ☐ ・ミスはなく、必要書類等も完備されていた。	
		小 計	100	①								

評価項目		評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目	
				優	やや優	普通	やや劣	劣			
				1.0	0.5	0.0	-0.5	-1.0			
専門技術力	業務執行技術力	目的と内容の理解	1.00	評価細目チェック数 =0⇒『劣』 (得点率=-1.0) =1⇒『やや劣』 (得点率=-0.5) =2⇒『普通』 (得点率= 0.0) =3⇒『やや優』 (得点率= 0.5) =4⇒『優』 (得点率= 1.0)	得点率					☐ 業務計画書に必要事項が記載されていた。 ☐ 当該業務の目的、内容が理解されていた。 ☐ 業務計画書の実施方法等に、業務内容を具体化する記述があった。 ☐ 当該業務と他の業務、事業の関連が理解されていた。	
		必要情報の把握	1.00	評価細目チェック数 =0⇒『劣』 (得点率=-1.0) =1⇒『やや劣』 (得点率=-0.5) =2⇒『普通』 (得点率= 0.0) =3⇒『やや優』 (得点率= 0.5) =4⇒『優』 (得点率= 1.0)	得点率					☐ 業務着手時点において、必要な技術基準等が準備されていた。 ☐ 業務実施の各段階で、必要な技術基準等の内容が理解されていた。 ☐ 業務実施の各段階で、新たに必要とされた情報収集の努力がなされた。 ☐ 業務実施の各段階で、新たに入手した資料が理解・活用されていた。	
		検討・確認事項、 検討・確認内容	1.00	評価細目チェック数 =0⇒『劣』 (得点率=-1.0) =1⇒『やや劣』 (得点率=-0.5) =2⇒『普通』 (得点率= 0.0) =3⇒『やや優』 (得点率= 0.5) =4⇒『優』 (得点率= 1.0)	得点率					☐ 検討・確認項目は、契約図書の内容を満足していた。 ☐ 実施された検討・確認項目の技術的内容は、業務の目的に適合していた。 ☐ 業務目的に照らし必要な検討・確認項目が不足無く実施され、関連する業務・事業間の整合も図られていた。 ☐ 実施された検討・確認項目の技術的内容は、新たな、あるいは高度な設計等の技術に対応した難易度の高いものであった。	
		打合せ資料の内容	1.00	評価細目チェック数 =0⇒『劣』 (得点率=-1.0) =1⇒『やや劣』 (得点率=-0.5) =2⇒『普通』 (得点率= 0.0) =3⇒『やや優』 (得点率= 0.5) =4⇒『優』 (得点率= 1.0)	得点率					☐ 打合せ資料は、業務の各段階で必要な内容が盛り込まれたものであった。 ☐ 打合せ資料の内容は、必要な技術レベルを満足するものであった。 ☐ 打合せ資料は、前提条件、検討結果等の要点が明記された理解しやすいものであった。 ☐ 打合せ資料は、作図や文章表現にミスがほとんど無かった。	
		十分な技術力	1.00	評価細目チェック数 =0⇒『劣』 (得点率=-1.0) =1⇒『やや劣』 (得点率=-0.5) =2⇒『普通』 (得点率= 0.0) =3⇒『やや優』 (得点率= 0.5) =4⇒『優』 (得点率= 1.0)	得点率					☐ 設計内容（当該工事の仕様書や図面等の内容）や関係法令の内容が把握されていた。 ☐ 当初の検討項目の遂行や指示事項等への対応に必要な技術力を有していた。 ☐ 業務特性、現地条件、地域特性等の諸条件を考慮した上で、課題の解決が図られていた。 ☐ 新たな、あるいは高度な設計等の技術に十分対応できる能力を有していた。	
		小 計	5.00	／ ±100 ①							
	プロセス評価	迅速性、 工程管理能力、 調整能力	実施手順、 工程計画	2.00	評価細目チェック数 =0⇒『劣』 (得点率=-1.0) =1⇒『やや劣』 (得点率=-0.5) =2⇒『普通』 (得点率= 0.0) =3⇒『やや優』 (得点率= 0.5) =4⇒『優』 (得点率= 1.0)	得点率					☐ 契約締結後14日以内に業務計画書が提出されるなど、速やかに業務着手がなされた。 ☐ 業務工程表には、契約図書に示された業務内容が漏れなく記載されていた。 ☐ 立案された実施手順と工程計画は、整合が図られ、かつ業務内容に適合したものであった。 ☐ 実施手順の設定、工程計画の立案にあたり、業務を効率的あるいは円滑に遂行するための工夫がなされていた。
			実施体制	2.00	評価細目チェック数 =0⇒『劣』 (得点率=-1.0) =1⇒『やや劣』 (得点率=-0.5) =2⇒『普通』 (得点率= 0.0) =3⇒『やや優』 (得点率= 0.5) =4⇒『優』 (得点率= 1.0)	得点率					☐ 契約図書に基づき、管理技術者届が提出された。 ☐ 業務計画書に示された業務体制組織計画に基づく実施体制により、業務が履行されていた。 ☐ 業務を効率的あるいは円滑に遂行できる、適切な構成となっていた。 ☐ 業務を効率的あるいは円滑に遂行できるよう、必要な人員数が確保されていた。
			打合せ内容の 理解、記録	1.00	評価細目チェック数 =0⇒『劣』 (得点率=-1.0) =1⇒『やや劣』 (得点率=-0.5) =2⇒『普通』 (得点率= 0.0) =3⇒『やや優』 (得点率= 0.5) =4⇒『優』 (得点率= 1.0)	得点率					☐ 打合せごとに、打合せ記録簿が作成された。 ☐ 打合せ後、遅延無く打合せ記録簿が提出された。 ☐ 打合せ記録簿は、打合せ結果を的確に反映していた。 ☐ 打合せ後の対応（追加資料送付、進行状況連絡等）は、打合せ結果の内容に沿ったものであった。
			内部関係者 （業務委託者内） への情報伝達	1.00	評価細目チェック数 =0⇒『劣』 (得点率=-1.0) =1⇒『やや劣』 (得点率=-0.5) =2⇒『普通』 (得点率= 0.0) =3⇒『やや優』 (得点率= 0.5) =4⇒『優』 (得点率= 1.0)	得点率					☐ 内部関係者への情報伝達が確認された。 ☐ 内部関係者への情報伝達にミスがなかった。 ☐ 内部関係者への情報伝達は迅速であった。 ☐ 管理技術者は、業務遂行に係わるあらゆる状況を理解していた。
			工程管理	2.00	評価細目チェック数 =0⇒『劣』 (得点率=-1.0) =1⇒『やや劣』 (得点率=-0.5) =2⇒『普通』 (得点率= 0.0) =3⇒『やや優』 (得点率= 0.5) =4⇒『優』 (得点率= 1.0)	得点率					☐ 打合せ頻度は、十分なものであった。 ☐ 契約図書に定められた業務が、業務工程計画どおりに実施された。 ☐ 打合せ時期は、概ね業務着手時に立案した打合せ計画どおりであった。 ☐ 打合せ、連絡等により、発注者が業務の進捗状況を概ね把握できる状態にあった。
			小 計	8.00	／ ±100 ①						
品質管理能力		ミス防止の実施	4.00	評価細目チェック数 =0⇒『劣』 (得点率=-1.0) =1⇒『やや劣』 (得点率=-0.5) =2⇒『普通』 (得点率= 0.0) =3⇒『やや優』 (得点率= 0.5) =4⇒『優』 (得点率= 1.0)	得点率					☐ 当該業務において、品質管理のための体制が確保されていた。 ☐ 具体的な業務の実施状況の確認手法を記した、業務計画書が提出された。 ☐ 第3者（管理技術者、担当技術者以外）のチェック等自主的な品質管理の努力がなされていた。 ☐ 品質管理のためのシステム（ex. ISO9001）が構築されていた。	
		小 計	4.00	／ ±100 ①							
		弾力性等	当初工程計画の 変更	2.00	評価細目チェック数 =0⇒『普通』 (得点率= 0.0) =1⇒『やや優』 (得点率= 0.5) =2⇒『優』 (得点率= 1.0)	得点率					☐ 変更指示書に基づき、当初工程計画からの変更要請に対応した。 ☐ その結果生じた対応結果が、特に優れていた。 [※当初計画からの変更がなかった場合は、チェックをしない（評価しない）。]
小 計		2.00	／ ±100 ①								

評価項目		評価の視点	配点	得 点 率					得点	評定細目	
				優	やや優	普通	やや劣	劣			
				1.0	0.5	0.0	-0.5	-1.0			
プロセス評価	コミュニケーション力	説明力、表現力、協調性	1.00	評価細目チェック数 =0⇒『劣』 (得点率=-1.0) =1⇒『やや劣』 (得点率=-0.5) =2⇒『普通』 (得点率= 0.0) =3⇒『やや優』 (得点率= 0.5) =4⇒『優』 (得点率= 1.0)						☐ 業務計画書及び業務報告書は、日時・場所・参加者・目次・頁等が明記された資料となっていた。 ☐ 業務計画書及び業務報告書は、検討・確認結果が簡潔明瞭であり、理解しやすい内容となっていた。 質問に対する的確な回答がなされた、又は即答できない場合には回答期限が提示された。 ☐ 曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。	
				得 点 率							
		円滑な業務遂行への努力	1.00	評価細目チェック数 =0⇒『普通』 (得点率= 0.0) =1⇒『やや優』 (得点率= 0.5) =2⇒『優』 (得点率= 1.0)						☐ 密に業務の進捗状況等が発注者に報告されていた。 ☐ 業務遂行上、課題や問題点が発生した場合に迅速に報告がなされた。	
	得 点 率										
	小 計		2.00	／ ±100 ①							
取組姿勢、社会性	責任感、積極性	2.00	評価細目チェック数 =0⇒『劣』 (得点率=-1.0) =1⇒『やや劣』 (得点率=-0.5) =2⇒『普通』 (得点率= 0.0) =3⇒『やや優』 (得点率= 0.5) =4⇒『優』 (得点率= 1.0)						☐ 管理技術者として、業務の取組み姿勢に積極性と責任感が認められた。 ☐ 打合せにおいて確認・解決すべき事項について見逃しがなかった。 ☐ 打合せ後、遅+E76延無く打合せ記録簿が提出された。 ☐ 業務遂行段階において不明な点が生じた場合、問い合わせや確認が迅速になされた。		
			得 点 率								
	小 計		2.00	／ ±100 ①							
結果評価	施工計画の確認検討、施工図等の検討、工事の確認	目的の達成度	4.00	評価細目チェック数 =0⇒『劣』 (得点率=-1.0) =1⇒『やや劣』 (得点率=-0.5) =2⇒『普通』 (得点率= 0.0) =3⇒『やや優』 (得点率= 0.5) =4⇒『優』 (得点率= 1.0)						☐ 契約図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 ☐ 業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 ☐ 業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容であった。 ☐ 高度な技術レベル、多岐にわたる検討・確認項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。	
		業務報告書等の的確な取りまとめ	4.00	評価細目チェック数 =0⇒『劣』 (得点率=-1.0) =1⇒『やや劣』 (得点率=-0.5) =2⇒『普通』 (得点率= 0.0) =3⇒『やや優』 (得点率= 0.5) =4⇒『優』 (得点率= 1.0)							☐ 契約図書にある業務内容、業務遂行段階での指示事項が的確に取りまとめられている。 ☐ 業務報告書やその他検討提出資料の内容において、著しい不整合がみられなかった。 ☐ 簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫がみられ確認しやすい。 ☐ 契約図書にある事項、業務遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。
		ミスの有無	4.00	評価細目チェック数 =0⇒『劣』 (得点率=-1.0) =1⇒『やや劣』 (得点率=-0.5) =2⇒『普通』 (得点率= 0.0) =3⇒『やや優』 (得点率= 0.5) =4⇒『優』 (得点率= 1.0)							
		小 計		12.00	／ ±100 ①						
	合 計		35.00	／ 100							
評 定 点			／ 35× 40 + 60 =								

所見

工事監理委託

[管理・統轄]

[担当監督員]

評価項目			評価の視点	配点	得点率					得点	評定細目
					優	やや優	普通	やや劣	劣		
					1.0	0.5	0.0	-0.5	-1.0		
プロセス評価	専門技術力	業務執行技術力	必要情報の把握	2.50	評価細目チェック数 =0⇒『劣』 (得点率=-1.0) =1⇒『やや劣』 (得点率=-0.5) =2⇒『普通』 (得点率=0.0) =3⇒『やや優』 (得点率=0.5) =4⇒『優』 (得点率=1.0)	得点率					☐ 業務着手時点において、必要な技術基準等が準備されていた。 ☐ 業務実施の各段階で、必要な技術基準等の内容が理解されていた。 ☐ 業務実施の各段階で、新たに必要とされた情報収集の努力がなされた。 ☐ 業務実施の各段階で、新たに入手した資料が理解・活用されていた。
			検討・確認事項、検討・確認内容	2.50	評価細目チェック数 =0⇒『劣』 (得点率=-1.0) =1⇒『やや劣』 (得点率=-0.5) =2⇒『普通』 (得点率=0.0) =3⇒『やや優』 (得点率=0.5) =4⇒『優』 (得点率=1.0)	得点率					☐ 検討・確認項目は、契約図書の内容を満足していた。 ☐ 実施された検討・確認項目の技術的内容は、業務の目的に適合していた。 ☐ 業務目的に照らし必要な検討・確認項目が不足無く実施され、関連する業務・事業間の整合も図られていた。 ☐ 実施された検討・確認項目の技術的内容は、新たな、あるいは高度な設計等の技術に対応した難易度の高いものであった。
			打合せ資料の内容	2.50	評価細目チェック数 =0⇒『劣』 (得点率=-1.0) =1⇒『やや劣』 (得点率=-0.5) =2⇒『普通』 (得点率=0.0) =3⇒『やや優』 (得点率=0.5) =4⇒『優』 (得点率=1.0)	得点率					☐ 打合せ資料は、業務の各段階で必要な内容が盛り込まれたものであった。 ☐ 打合せ資料の内容は、必要な技術レベルを満足するものであった。 ☐ 打合せ資料は、前提条件、検討結果等の要点が明記された理解しやすいものであった。 ☐ 打合せ資料は、作図や文章表現にミスがほとんど無かった。
			十分な技術力	2.50	評価細目チェック数 =0⇒『劣』 (得点率=-1.0) =1⇒『やや劣』 (得点率=-0.5) =2⇒『普通』 (得点率=0.0) =3⇒『やや優』 (得点率=0.5) =4⇒『優』 (得点率=1.0)	得点率					☐ 設計内容（当該工事の仕様書や図面等の内容）や関係法令の内容が把握されていた。 ☐ 当初の検討項目の遂行や指示事項等への対応に必要な技術力を有していた。 ☐ 業務特性、現地条件、地域特性等の諸条件を考慮した上で、課題の解決が図られていた。 ☐ 新たな、あるいは高度な設計等の技術に十分対応できる能力を有していた。
			小 計	10.00	／ ±100 ②						
	管理技術力	迅速性、工程管理能力、調整能力	打合せ内容の理解、記録	2.00	評価細目チェック数 =0⇒『劣』 (得点率=-1.0) =1⇒『やや劣』 (得点率=-0.5) =2⇒『普通』 (得点率=0.0) =3⇒『やや優』 (得点率=0.5) =4⇒『優』 (得点率=1.0)	得点率					☐ 打合せごとに、打合せ記録簿が作成された。 ☐ 打合せ後、遅延無く打合せ記録簿が提出された。 ☐ 打合せ記録簿は、打合せ結果を的確に反映していた。 ☐ 打合せ後の対応（追加資料送付、進行状況連絡等）は、打合せ結果の内容に沿ったものであった。
			工程管理	4.00	評価細目チェック数 =0⇒『劣』 (得点率=-1.0) =1⇒『やや劣』 (得点率=-0.5) =2⇒『普通』 (得点率=0.0) =3⇒『やや優』 (得点率=0.5) =4⇒『優』 (得点率=1.0)	得点率					☐ 打合せ頻度は、十分なものであった。 ☐ 契約図書に定められた業務が、業務工程計画どおりに実施された。 ☐ 打合せ時期は、概ね業務着手時に立案した打合せ計画どおりであった。 ☐ 打合せ、連絡等により、発注者が業務の進捗状況を概ね把握できる状態にあった。
			小 計	6.00	／ ±100 ②						
		弾力性等	当初工程計画の変更	2.00	評価細目チェック数 =0⇒『普通』 (得点率=0.0) =1⇒『やや優』 (得点率=0.5) =2⇒『優』 (得点率=1.0)	得点率					☐ 変更指示書に基づき、当初工程計画からの変更要請に対応した。 ☐ その結果生じた対応結果が、特に優れていた。 [※当初計画からの変更がなかった場合は、チェックをしない（評価しない）。]
			小 計	2.00	／ ±100 ②						
プロセス評価	コミュニケーション力	説明力、表現力、協調性	理解しやすい説明・表現	1.00	評価細目チェック数 =0⇒『劣』 (得点率=-1.0) =1⇒『やや劣』 (得点率=-0.5) =2⇒『普通』 (得点率=0.0) =3⇒『やや優』 (得点率=0.5) =4⇒『優』 (得点率=1.0)	得点率					☐ 業務計画書及び業務報告書は、日時・場所・参加者・目次・頁等が明記された資料となっていた。 ☐ 業務計画書及び業務報告書は、検討・確認結果が簡潔明瞭であり、理解しやすい内容となっていた。 ☐ 質問に対する的確な回答がなされた、又は即答できない場合には回答期限が提示された。 ☐ 曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。
			円滑な業務遂行への努力	2.00	評価細目チェック数 =0⇒『普通』 (得点率=0.0) =1⇒『やや優』 (得点率=0.5) =2⇒『優』 (得点率=1.0)	得点率					☐ 密に業務の進捗状況等が発注者に報告されていた。 ☐ 業務遂行上、課題や問題点が発生した場合に迅速に報告がなされた。
			小 計	3.00	／ ±100 ②						
	取組姿勢、社会性	責任感、積極性	責任感の強さ、積極性	2.00	評価細目チェック数 =0⇒『劣』 (得点率=-1.0) =1⇒『やや劣』 (得点率=-0.5) =2⇒『普通』 (得点率=0.0) =3⇒『やや優』 (得点率=0.5) =4⇒『優』 (得点率=1.0)	得点率					☐ 管理技術者として、業務の取組み姿勢に積極性と責任感が認められた。 ☐ 打合せにおいて確認・解決すべき事項について見逃しがなかった。 ☐ 打合せ後、遅+E76延無く打合せ記録簿が提出された。 ☐ 業務遂行段階において不明な点が生じた場合、問い合わせや確認が迅速になされた。
			小 計	2.00	0.00 / ±100 ②						

評価項目		評価の視点	配点	得 点 率					得点	評定細目
				優	やや優	普通	やや劣	劣		
				1.0	0.5	0.0	-0.5	-1.0		
結果評価	施工計画の 確認検討、 施工図等 の検討、 工事の確認	目的の達成度	4.00	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率=-1.0) =1⇒『やや劣』(得点率=-0.5) =2⇒『普通』(得点率= 0.0) =3⇒『やや優』(得点率= 0.5) =4⇒『優』(得点率= 1.0)						☐ 契約図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 ☐ 業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 ☐ 業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容であった。 ☐ 高度な技術レベル、多岐にわたる検討・確認項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。
		得 点 率								
		業務報告書等の 的確な取りまとめ	4.00	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率=-1.0) =1⇒『やや劣』(得点率=-0.5) =2⇒『普通』(得点率= 0.0) =3⇒『やや優』(得点率= 0.5) =4⇒『優』(得点率= 1.0)						
		得 点 率								
		ミスの有無	4.00	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率=-1.0) =1⇒『やや劣』(得点率=-0.5) =2⇒『普通』(得点率= 0.0) =3⇒『やや優』(得点率= 0.5) =4⇒『優』(得点率= 1.0)						
		得 点 率								
小 計		12.00	／ ±100 ②							
合 計		35.00	／ 100							
評 定 点			／ 35× 40 + 60 =							

評価項目			評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
					優	やや優	普通	やや劣	劣		
					1.0	0.5	0.0	-0.5	-1.0		
プロセス評価	専門技術力	業務執行技術力	必要情報の把握	2.50	評価細目チェック数 =0⇒『劣』（得点率=-1.0） =1⇒『やや劣』（得点率=-0.5） =2⇒『普通』（得点率=0.0） =3⇒『やや優』（得点率=0.5） =4⇒『優』（得点率=1.0）						☐ 業務着手時点において、必要な技術基準等が準備されていた。
			得点率					☐ 業務実施の各段階で、必要な技術基準等の内容が理解されていた。			
			評価細目チェック数 =0⇒『劣』（得点率=-1.0） =1⇒『やや劣』（得点率=-0.5） =2⇒『普通』（得点率=0.0） =3⇒『やや優』（得点率=0.5） =4⇒『優』（得点率=1.0）					☐ 業務実施の各段階で、新たに必要とされた情報収集の努力がなされた。			
			得点率					☐ 業務実施の各段階で、新たに入手した資料が理解・活用されていた。			
			検討・確認事項、 検討・確認内容	2.50	評価細目チェック数 =0⇒『劣』（得点率=-1.0） =1⇒『やや劣』（得点率=-0.5） =2⇒『普通』（得点率=0.0） =3⇒『やや優』（得点率=0.5） =4⇒『優』（得点率=1.0）						☐ 検討・確認項目は、契約図書の項目を満足していた。
	得点率					☐ 実施された検討・確認項目の技術的内容は、業務の目的に適合していた					
	評価細目チェック数 =0⇒『劣』（得点率=-1.0） =1⇒『やや劣』（得点率=-0.5） =2⇒『普通』（得点率=0.0） =3⇒『やや優』（得点率=0.5） =4⇒『優』（得点率=1.0）					☐ 業務目的に照らし必要な検討・確認項目が不足無く実施され、関連する業務・事業間の整合も図られていた。					
	得点率					☐ 実施された検討・確認項目の技術的内容は、新たな、あるいは高度な設計等の技術に対応した難易度の高いものであった。					
	打合せ資料の内容	2.50	評価細目チェック数 =0⇒『劣』（得点率=-1.0） =1⇒『やや劣』（得点率=-0.5） =2⇒『普通』（得点率=0.0） =3⇒『やや優』（得点率=0.5） =4⇒『優』（得点率=1.0）						☐ 打合せ資料は、業務の各段階で必要な内容が盛り込まれたものであった。		
	得点率					☐ 打合せ資料の内容は、必要な技術レベルを満足するものであった。					
評価細目チェック数 =0⇒『劣』（得点率=-1.0） =1⇒『やや劣』（得点率=-0.5） =2⇒『普通』（得点率=0.0） =3⇒『やや優』（得点率=0.5） =4⇒『優』（得点率=1.0）					☐ 打合せ資料は、前提条件、検討結果等の要点が明記された理解しやすいものであった。						
得点率					☐ 打合せ資料は、作図や文章表現にミスがほとんど無かった。						
十分な技術力	2.50	評価細目チェック数 =0⇒『劣』（得点率=-1.0） =1⇒『やや劣』（得点率=-0.5） =2⇒『普通』（得点率=0.0） =3⇒『やや優』（得点率=0.5） =4⇒『優』（得点率=1.0）						☐ 設計内容（当該工事の仕様書や図面等の内容）や関係法令の内容が把握されていた。			
得点率					☐ 当初の検討項目の遂行や指示事項等への対応に必要な技術力を有していた。						
評価細目チェック数 =0⇒『劣』（得点率=-1.0） =1⇒『やや劣』（得点率=-0.5） =2⇒『普通』（得点率=0.0） =3⇒『やや優』（得点率=0.5） =4⇒『優』（得点率=1.0）					☐ 業務特性、現地条件、地域特性等の諸条件を考慮した上で、課題の解決が図られていた。						
得点率					☐ 新たな、あるいは高度な設計等の技術に十分対応できる能力を有していた。						
小 計			10.00	／ ±100 ②							
管理技術力	迅速性、 工程管理能力、 調整能力	打合せ内容の 理解、記録	2.00	評価細目チェック数 =0⇒『劣』（得点率=-1.0） =1⇒『やや劣』（得点率=-0.5） =2⇒『普通』（得点率=0.0） =3⇒『やや優』（得点率=0.5） =4⇒『優』（得点率=1.0）						☐ 打合せごとに、打合せ記録簿が作成された。	
		得点率					☐ 打合せ後、遅延無く打合せ記録簿が提出された。				
		工程管理	4.00	評価細目チェック数 =0⇒『劣』（得点率=-1.0） =1⇒『やや劣』（得点率=-0.5） =2⇒『普通』（得点率=0.0） =3⇒『やや優』（得点率=0.5） =4⇒『優』（得点率=1.0）						☐ 打合せ記録簿は、打合せ結果を的確に反映していた。	
	得点率					☐ 打合せ後の対応（追加資料送付、進行状況連絡等）は、打合せ結果の内容に沿ったものであった。					
	小 計			6.00	／ ±100 ②						
	弾力性等	当初工程計画の 変更	2.00	評価細目チェック数 =0⇒『普通』（得点率=0.0） =1⇒『やや優』（得点率=0.5） =2⇒『優』（得点率=1.0）						☐ 変更指示書に基づき、当初工程計画からの変更要請に対応した。	
得点率					☐ その結果生じた対応結果が、特に優れていた。						
小 計			2.00	／ ±100 ②						[※当初計画からの変更がなかった場合は、チェックをしない（評価しない）。]	
プロセス評価	コミュニケーション力	説明力、 表現力、 協調性	理解しやすい 説明・表現	1.00	評価細目チェック数 =0⇒『劣』（得点率=-1.0） =1⇒『やや劣』（得点率=-0.5） =2⇒『普通』（得点率=0.0） =3⇒『やや優』（得点率=0.5） =4⇒『優』（得点率=1.0）						☐ 業務計画書及び業務報告書は、日時・場所・参加者・目次・頁等が明記された資料となっていた。
			得点率					☐ 業務計画書及び業務報告書は、検討・確認結果が簡潔明瞭であり、理解しやすい内容となっていた。			
			円滑な業務遂行 への努力	2.00	評価細目チェック数 =0⇒『普通』（得点率=0.0） =1⇒『やや優』（得点率=0.5） =2⇒『優』（得点率=1.0）						☐ 質問に対する的確な回答がなされた、又は即答できない場合には回答期限が提示された。
	得点率					☐ 曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。					
	小 計			3.00	／ ±100 ②						☐ 密に業務の進捗状況等が発注者に報告されていた。
取組姿勢、 社会性	責任感、積極性	責任感の強さ、 積極性	2.00	評価細目チェック数 =0⇒『劣』（得点率=-1.0） =1⇒『やや劣』（得点率=-0.5） =2⇒『普通』（得点率=0.0） =3⇒『やや優』（得点率=0.5） =4⇒『優』（得点率=1.0）						☐ 業務遂行上、課題や問題点が発生した場合に迅速に報告がなされた。	
		得点率					☐ 管理技術者として、業務の取組み姿勢に積極性と責任感が認められた。				
		小 計			2.00	／ ±100 ②					
										☐ 打合せ後、遅+E76延無く打合せ記録簿が提出された。	
										☐ 打合せ後、遅+E76延無く打合せ記録簿が提出された。	
										☐ 業務遂行段階において不明な点が生じた場合、問い合わせや確認が迅速になされた。	

評価項目		評価の視点	配点	得 点 率					得点	評定細目
				優	やや優	普通	やや劣	劣		
				1.0	0.5	0.0	-0.5	-1.0		
結果評価	施工計画の 確認検討、 施工図等 の検討、 工事の確認	目的の達成度	4.00	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率=-1.0) =1⇒『やや劣』(得点率=-0.5) =2⇒『普通』(得点率= 0.0) =3⇒『やや優』(得点率= 0.5) =4⇒『優』(得点率= 1.0)						☐ 契約図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 ☐ 業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 ☐ 業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容であった。 ☐ 高度な技術レベル、多岐にわたる検討・確認項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。
		業務報告書等の 的確な取りまとめ	4.00	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率=-1.0) =1⇒『やや劣』(得点率=-0.5) =2⇒『普通』(得点率= 0.0) =3⇒『やや優』(得点率= 0.5) =4⇒『優』(得点率= 1.0)						☐ 契約図書にある業務内容、業務遂行段階での指示事項が的確に取りまとめられている。 ☐ 業務報告書やその他検討提出資料の内容において、著しい不整合がみられなかった。 ☐ 簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫がみられ確認しやすい。 ☐ 契約図書にある事項、業務遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。
		ミスの有無	4.00	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率=-1.0) =1⇒『やや劣』(得点率=-0.5) =2⇒『普通』(得点率= 0.0) =3⇒『やや優』(得点率= 0.5) =4⇒『優』(得点率= 1.0)						☐ 工事の品質に大きな影響を及ぼすような、重大なミスは無かった。 ☐ 工事の工程に大きな影響を及ぼすような、重大なミスは無かった。 ☐ チェックリスト等の業務実施状況の記録により、ミスの防止が図られていた。 ☐ 業務報告書の内容にミスは無く、打合せ記録簿等も完備されていた。
		小 計	12.00	／ ±100 ②						
		合 計		35.00	／ 100					
評 定 点			／ 35× 40 + 60 =							

所見

工事監理委託

[建築・構造]

[担当監督員]

評価項目		評価の視点	配点	得 点 率					得点	評価細目	
				優	やや優	普通	やや劣	劣			
				1.0	0.5	0.0	-0.5	-1.0			
プロセス評価	専門技術力	業務執行技術力	必要情報の把握	2.50	評価細目チェック数 =0⇒『劣』 (得点率=-1.0) =1⇒『やや劣』 (得点率=-0.5) =2⇒『普通』 (得点率= 0.0) =3⇒『やや優』 (得点率= 0.5) =4⇒『優』 (得点率= 1.0)						☐ 業務着手時点において、必要な技術基準等が準備されていた。 ☐ 業務実施の各段階で、必要な技術基準等の内容が理解されていた。 ☐ 業務実施の各段階で、新たに必要とされた情報収集の努力がなされた。 ☐ 業務実施の各段階で、新たに入手した資料が理解・活用されていた。
					得 点 率						
			検討・確認事項、 検討・確認内容	2.50	評価細目チェック数 =0⇒『劣』 (得点率=-1.0) =1⇒『やや劣』 (得点率=-0.5) =2⇒『普通』 (得点率= 0.0) =3⇒『やや優』 (得点率= 0.5) =4⇒『優』 (得点率= 1.0)						☐ 検討・確認項目は、契約図書の項目を満足していた。 ☐ 実施された検討・確認項目の技術的内容は、業務の目的に適合していた。 ☐ 業務目的に照らし必要な検討・確認項目が不足無く実施され、関連する業務・事業間の整合も図られていた。 ☐ 実施された検討・確認項目の技術的内容は、新たな、あるいは高度な設計等の技術に対応した難易度の高いものであった。
					得 点 率						
			打合せ資料の内容	2.50	評価細目チェック数 =0⇒『劣』 (得点率=-1.0) =1⇒『やや劣』 (得点率=-0.5) =2⇒『普通』 (得点率= 0.0) =3⇒『やや優』 (得点率= 0.5) =4⇒『優』 (得点率= 1.0)						☐ 打合せ資料は、業務の各段階で必要な内容が盛り込まれたものであった。 ☐ 打合せ資料の内容は、必要な技術レベルを満足するものであった。 ☐ 打合せ資料は、前提条件、検討結果等の要点が明記された理解しやすいものであった。 ☐ 打合せ資料は、作図や文章表現にミスがほとんど無かった。
	得 点 率										
	十分な技術力	2.50	評価細目チェック数 =0⇒『劣』 (得点率=-1.0) =1⇒『やや劣』 (得点率=-0.5) =2⇒『普通』 (得点率= 0.0) =3⇒『やや優』 (得点率= 0.5) =4⇒『優』 (得点率= 1.0)						☐ 設計内容（当該工事の仕様書や図面等の内容）や関係法令の内容が把握されていた。 ☐ 当初の検討項目の遂行や指示事項等への対応に必要な技術力を有していた。 ☐ 業務特性、現地条件、地域特性等の諸条件を考慮した上で、課題の解決が図られていた。 ☐ 新たな、あるいは高度な設計等の技術に十分対応できる能力を有していた。		
			得 点 率								
	小 計		10.00	／ ±100 ②							
	管理技術力	迅速性、 工程管理能力、 調整能力	打合せ内容の 理解、記録	2.00	評価細目チェック数 =0⇒『劣』 (得点率=-1.0) =1⇒『やや劣』 (得点率=-0.5) =2⇒『普通』 (得点率= 0.0) =3⇒『やや優』 (得点率= 0.5) =4⇒『優』 (得点率= 1.0)						☐ 打合せごとに、打合せ記録簿が作成された。 ☐ 打合せ後、遅延無く打合せ記録簿が提出された。 ☐ 打合せ記録簿は、打合せ結果を的確に反映していた。 ☐ 打合せ後の対応（追加資料送付、進行状況連絡等）は、打合せ結果の内容に沿ったものであった。
得 点 率											
工程管理			4.00	評価細目チェック数 =0⇒『劣』 (得点率=-1.0) =1⇒『やや劣』 (得点率=-0.5) =2⇒『普通』 (得点率= 0.0) =3⇒『やや優』 (得点率= 0.5) =4⇒『優』 (得点率= 1.0)						☐ 打合せ頻度は、十分なものであった。 ☐ 契約図書に定められた業務が、業務工程計画どおりに実施された。 ☐ 打合せ時期は、概ね業務着手時に立案した打合せ計画どおりであった。 ☐ 打合せ、連絡等により、発注者が業務の進捗状況を概ね把握できる状態にあった。	
		得 点 率									
小 計		6.00	／ ±100 ②								
弾力性等	当初工程計画の 変更	2.00	評価細目チェック数 =0⇒『普通』 (得点率= 0.0) =1⇒『やや優』 (得点率= 0.5) =2⇒『優』 (得点率= 1.0)						☐ 変更指示書に基づき、当初工程計画からの変更要請に対応した。 ☐ その結果生じた対応結果が、特に優れていた。 [※当初計画からの変更がなかった場合は、チェックをしない（評価しない）。]		
			得 点 率								
	小 計		2.00	／ ±100 ②							
コミュニケーション力	説明力、 表現力、 協調性	理解しやすい 説明・表現	1.00	評価細目チェック数 =0⇒『劣』 (得点率=-1.0) =1⇒『やや劣』 (得点率=-0.5) =2⇒『普通』 (得点率= 0.0) =3⇒『やや優』 (得点率= 0.5) =4⇒『優』 (得点率= 1.0)						☐ 業務計画書及び業務報告書は、日時・場所・参加者・目次・頁等が明記された資料となっていた。 ☐ 業務計画書及び業務報告書は、検討・確認結果が簡潔明瞭であり、理解しやすい内容となっていた。 ☐ 質問に対する的確な回答がなされた、又は即答できない場合には回答期限が提示された。 ☐ 曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。	
				得 点 率							
		円滑な業務遂行 への努力	2.00	評価細目チェック数 =0⇒『普通』 (得点率= 0.0) =1⇒『やや優』 (得点率= 0.5) =2⇒『優』 (得点率= 1.0)						☐ 密に業務の進捗状況等が発注者に報告されていた。 ☐ 業務遂行上、課題や問題点が発生した場合に迅速に報告がなされた。	
	得 点 率										
	小 計		3.00	／ ±100 ②							
取組姿勢、 社会性	責任感、積極性	責任感の強さ、 積極性	2.00	評価細目チェック数 =0⇒『劣』 (得点率=-1.0) =1⇒『やや劣』 (得点率=-0.5) =2⇒『普通』 (得点率= 0.0) =3⇒『やや優』 (得点率= 0.5) =4⇒『優』 (得点率= 1.0)						☐ 管理技術者として、業務の取組み姿勢に積極性と責任感が認められた。 ☐ 打合せにおいて確認・解決すべき事項について見逃しがなかった。 ☐ 打合せ後、遅延無く打合せ記録簿が提出された。 ☐ 業務遂行段階において不明な点が生じた場合、問い合わせや確認が迅速になされた。	
				得 点 率							
小 計		2.00	／ ±100 ②								

評価項目		評価の視点	配点	得 点 率					得点	評定細目
				優	やや優	普通	やや劣	劣		
				1.0	0.5	0.0	-0.5	-1.0		
結果評価	施工計画の 確認検討、 施工図等 の検討、 工事の確認	目的の達成度	4.00	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率=-1.0) =1⇒『やや劣』(得点率=-0.5) =2⇒『普通』(得点率= 0.0) =3⇒『やや優』(得点率= 0.5) =4⇒『優』(得点率= 1.0)						☐ 契約図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 ☐ 業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 ☐ 業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容であった。 ☐ 高度な技術レベル、多岐にわたる検討・確認項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。
		業務報告書等の 的確な取りまとめ	4.00	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率=-1.0) =1⇒『やや劣』(得点率=-0.5) =2⇒『普通』(得点率= 0.0) =3⇒『やや優』(得点率= 0.5) =4⇒『優』(得点率= 1.0)						☐ 契約図書にある業務内容、業務遂行段階での指示事項が的確に取りまとめられている。 ☐ 業務報告書やその他検討提出資料の内容において、著しい不整合がみられなかった。 ☐ 簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫がみられ確認しやすい。 ☐ 契約図書にある事項、業務遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。
		ミスの有無	4.00	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率=-1.0) =1⇒『やや劣』(得点率=-0.5) =2⇒『普通』(得点率= 0.0) =3⇒『やや優』(得点率= 0.5) =4⇒『優』(得点率= 1.0)						☐ 工事の品質に大きな影響を及ぼすような、重大なミスは無かった。 ☐ 工事の工程に大きな影響を及ぼすような、重大なミスは無かった。 ☐ チェックリスト等の業務実施状況の記録により、ミスの防止が図られていた。 ☐ 業務報告書の内容にミスは無く、打合せ記録簿等も完備されていた。
		小 計	12.00	／ ±100 ②						
		合 計	35.00	／ 100						
評 定 点			／ 35× 40 + 60 =							

所見

工事監理委託

[電気設備]

[担当監督員]

評価項目		評価の視点	配点	得 点 率					得点	評価細目
				優	やや優	普通	やや劣	劣		
				1.0	0.5	0.0	-0.5	-1.0		
プロセス評価	専門技術力	業務執行技術力	必要情報の把握	2.50	評価細目チェック数 =0⇒『劣』（得点率=-1.0） =1⇒『やや劣』（得点率=-0.5） =2⇒『普通』（得点率= 0.0） =3⇒『やや優』（得点率= 0.5） =4⇒『優』（得点率= 1.0） 得 点 率					☐ 業務着手時点において、必要な技術基準等が準備されていた。 ☐ 業務実施の各段階で、必要な技術基準等の内容が理解されていた。 ☐ 業務実施の各段階で、新たに必要とされた情報収集の努力がなされた。 ☐ 業務実施の各段階で、新たに入手した資料が理解・活用されていた。
			検討・確認事項、 検討・確認内容	2.50	評価細目チェック数 =0⇒『劣』（得点率=-1.0） =1⇒『やや劣』（得点率=-0.5） =2⇒『普通』（得点率= 0.0） =3⇒『やや優』（得点率= 0.5） =4⇒『優』（得点率= 1.0） 得 点 率					☐ 検討・確認項目は、契約図書の項目を満足していた。 ☐ 実施された検討・確認項目の技術的内容は、業務の目的に適合していた。 ☐ 業務目的に照らし必要な検討・確認項目が不足無く実施され、関連する業務・事業間の整合も図られていた。 ☐ 実施された検討・確認項目の技術的内容は、新たな、あるいは高度な設計等の技術に対応した難易度の高いものであった。
			打合せ資料の内容	2.50	評価細目チェック数 =0⇒『劣』（得点率=-1.0） =1⇒『やや劣』（得点率=-0.5） =2⇒『普通』（得点率= 0.0） =3⇒『やや優』（得点率= 0.5） =4⇒『優』（得点率= 1.0） 得 点 率					☐ 打合せ資料は、業務の各段階で必要な内容が盛り込まれたものであった。 ☐ 打合せ資料の内容は、必要な技術レベルを満足するものであった。 ☐ 打合せ資料は、前提条件、検討結果等の要点が明記された理解しやすいものであった。 ☐ 打合せ資料は、作図や文章表現にミスがほとんど無かった。
			十分な技術力	2.50	評価細目チェック数 =0⇒『劣』（得点率=-1.0） =1⇒『やや劣』（得点率=-0.5） =2⇒『普通』（得点率= 0.0） =3⇒『やや優』（得点率= 0.5） =4⇒『優』（得点率= 1.0） 得 点 率					☐ 設計内容（当該工事の仕様書や図面等の内容）や関係法令の内容が把握されていた。 ☐ 当初の検討項目の遂行や指示事項等への対応に必要な技術力を有していた。 ☐ 業務特性、現地条件、地域特性等の諸条件を考慮した上で、課題の解決が図られていた。 ☐ 新たな、あるいは高度な設計等の技術に十分対応できる能力を有していた。
		小 計	10.00	／ ±100 ②						
	管理技術力	迅速性、 工程管理能力、 調整能力	打合せ内容の 理解、記録	2.00	評価細目チェック数 =0⇒『劣』（得点率=-1.0） =1⇒『やや劣』（得点率=-0.5） =2⇒『普通』（得点率= 0.0） =3⇒『やや優』（得点率= 0.5） =4⇒『優』（得点率= 1.0） 得 点 率					☐ 打合せごとに、打合せ記録簿が作成された。 ☐ 打合せ後、遅延無く打合せ記録簿が提出された。 ☐ 打合せ記録簿は、打合せ結果を的確に反映していた。 ☐ 打合せ後の対応（追加資料送付、進行状況連絡等）は、打合せ結果の内容に沿ったものであった。
			工程管理	4.00	評価細目チェック数 =0⇒『劣』（得点率=-1.0） =1⇒『やや劣』（得点率=-0.5） =2⇒『普通』（得点率= 0.0） =3⇒『やや優』（得点率= 0.5） =4⇒『優』（得点率= 1.0） 得 点 率					☐ 打合せ頻度は、十分なものであった。 ☐ 契約図書に定められた業務が、業務工程計画どおりに実施された。 ☐ 打合せ時期は、概ね業務着手時に立案した打合せ計画どおりであった。 ☐ 打合せ、連絡等により、発注者が業務の進捗状況を概ね把握できる状態にあった。
			小 計	6.00	／ ±100 ②					
		弾力性等	当初工程計画の 変更	2.00	評価細目チェック数 =0⇒『普通』（得点率= 0.0） =1⇒『やや優』（得点率= 0.5） =2⇒『優』（得点率= 1.0） 得 点 率					☐ 変更指示書に基づき、当初工程計画からの変更要請に対応した。 ☐ その結果生じた対応結果が、特に優れていた。 [※当初計画からの変更がなかった場合は、チェックをしない（評価しない）。]
			小 計	2.00	／ ±100 ②					
プロセス評価	コミュニケーション力	説明力、 表現力、 協調性	理解しやすい 説明・表現	1.00	評価細目チェック数 =0⇒『劣』（得点率=-1.0） =1⇒『やや劣』（得点率=-0.5） =2⇒『普通』（得点率= 0.0） =3⇒『やや優』（得点率= 0.5） =4⇒『優』（得点率= 1.0） 得 点 率					☐ 業務計画書及び業務報告書は、日時・場所・参加者・目次・頁等が明記された資料となっていた。 ☐ 業務計画書及び業務報告書は、検討・確認結果が簡潔明瞭であり、理解しやすい内容となっていた。 ☐ 質問に対する的確な回答がなされた、又は即答できない場合には回答期限が提示された。 ☐ 曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。
			円滑な業務遂行 への努力	2.00	評価細目チェック数 =0⇒『普通』（得点率= 0.0） =1⇒『やや優』（得点率= 0.5） =2⇒『優』（得点率= 1.0） 得 点 率					☐ 密に業務の進捗状況等が発注者に報告されていた。 ☐ 業務遂行上、課題や問題点が発生した場合に迅速に報告がなされた。
			小 計	3.00	／ ±100 ②					
	取組姿勢、 社会性	責任感、積極性	責任感の強さ、 積極性	2.00	評価細目チェック数 =0⇒『劣』（得点率=-1.0） =1⇒『やや劣』（得点率=-0.5） =2⇒『普通』（得点率= 0.0） =3⇒『やや優』（得点率= 0.5） =4⇒『優』（得点率= 1.0） 得 点 率					☐ 管理技術者として、業務の取組み姿勢に積極性と責任感が認められた。 ☐ 打合せにおいて確認・解決すべき事項について見逃しがなかった。 ☐ 打合せ後、遅延E76延無く打合せ記録簿が提出された。 ☐ 業務遂行段階において不明な点が生じた場合、問い合わせや確認が迅速になされた。
			小 計	2.00	／ ±100 ②					

評価項目		評価の視点	配点	得 点 率					得点	評定細目
				優	やや優	普通	やや劣	劣		
				1.0	0.5	0.0	-0.5	-1.0		
結果評価	施工計画の 確認検討、 施工図等 の検討、 工事の確認	目的の達成度	4.00	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率=-1.0) =1⇒『やや劣』(得点率=-0.5) =2⇒『普通』(得点率= 0.0) =3⇒『やや優』(得点率= 0.5) =4⇒『優』(得点率= 1.0)						☐ 契約図書に提示された項目が、漏れなく実施された。
		業務報告書等の 的確な取りまとめ	4.00	得 点 率						☐ 業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。
				評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率=-1.0) =1⇒『やや劣』(得点率=-0.5) =2⇒『普通』(得点率= 0.0) =3⇒『やや優』(得点率= 0.5) =4⇒『優』(得点率= 1.0)						☐ 業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容であった。
		ミスの有無	4.00	得 点 率						☐ 高度な技術レベル、多岐にわたる検討・確認項目など、難易度の高い業務 に対し必要な業務成果が得られた。
				評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率=-1.0) =1⇒『やや劣』(得点率=-0.5) =2⇒『普通』(得点率= 0.0) =3⇒『やや優』(得点率= 0.5) =4⇒『優』(得点率= 1.0)						☐ 契約図書にある業務内容、業務遂行段階での指示事項が的確に取りまとめ られている。
		小 計		12.00	／ ±100 ②					
合 計		35.00	／ 100						☐ 簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫がみられ確認 しやすい。	
評 定 点			／ 35× 40 + 60 =						☐ 契約図書にある事項、業務遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が 理解しやすく取りまとめられている。	

所見

工事監理委託

[機械設備]

[担当監督員]

採点表

(Ⅰ)土木設計(概略設計、予備設計、詳細設計) [主任監督員]

評価項目			評価の 視点	配点	得点率					得点	評価細目
					優 標 準 劣						
					1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
プロセス評価	専門技術力	業務執行技術力	100	右記評価細目の該当項目を総合的に判断して「0.2」、「0.4」、「0.6」(基準点)、「0.8」、「1.0」を付与する。						☐ ・当該業務の目的と内容の理解について、特に評価できるものであった。 ☐ ・当該業務に必要な情報の把握について、特に評価できるものであった。 ☐ ・当該業務に対する検討項目及び検討手法について、特に評価できるものであった。 ☐ ・当該業務の打合せ資料の内容について、特に評価できるものであった。 ☐ ・当該業務に必要とされる技術力を十分に発揮し、特に評価できるものであった。 ☐ ・その他(理由：)	
				小 計	100	③					
		責任感、積極性、倫理観	責任感、積極性、倫理観	100	右記評価細目の該当項目を総合的に判断して「0.2」、「0.4」、「0.6」(基準点)、「0.8」、「1.0」を付与する。						☐ ・企業として積極的に技術の研究に取り組んでいる。 ☐ ・業務遂行にあたって、取り組みへの積極性・責任感に対して評価できるものであった。 ☐ ・地域への貢献・環境配慮等に関して、特に評価できるものがあつた。 ☐ ・業務遂行中、新たに発生した課題等に対して、社内全体として体制の拡充を図る等により、業務を完成させた。 ☐ ・その他(理由：)
	小 計				100	③					
	結果評価		成果品の品質	目的の達成度	40	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					
		的確なとりまとめ		30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・設計図書にある検討項目、業務遂行段階での提示事項を、漏れなく取りまとめている。 ☐ ・理解しづらい文章表現等は、ほとんど認められない。 ☐ ・簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫がみられ読みやすい。 ☐ ・設計図書にある事項、業務遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。
ミスの有無		30		評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・成果品の品質に大きな影響を及ぼすような、重大なミスはなかった。 ☐ ・誤字・脱字、表記・計算ミスはわずかに認められたが、簡易に修正できる軽微なものであつた若しくはミスがなかった。 ☐ ・修正が必要なミスはなかった。 ☐ ・ミスはなく、必要書類等も完備されていた。	
小 計		100		③							

採点表

(Ⅱ-1) 建築設計(基本設計)

[主任監督員]

評価項目			評価の 視点	配点	得 点 率					得点	評価細目
					優 標 準 劣						
					1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
プロセス評価	専門技術力	業務執行技術力	100	右記評価細目の該当項目を総合的に判断して「0.2」、「0.4」、「0.6」(基準点)、「0.8」、「1.0」を付与する。						☐ ・当該業務の目的と内容の理解について、特に評価できるものであった。 ☐ ・当該業務に必要な情報の把握について、特に評価できるものであった。 ☐ ・当該業務に対する検討項目及び検討手法について、特に評価できるものであった。 ☐ ・当該業務の打合せ資料の内容について、特に評価できるものであった。 ☐ ・当該業務に必要とされる技術力を十分に発揮し、特に評価できるものであった。 ☐ ・その他(理由:)	
				小 計	100	③					
		責任感、積極性、倫理観	責任感、積極性、倫理観	100	右記評価細目の該当項目を総合的に判断して「0.2」、「0.4」、「0.6」(基準点)、「0.8」、「1.0」を付与する。						☐ ・企業として積極的に技術の研究に取り組んでいる。 ☐ ・業務遂行にあたって、取り組みへの積極性・責任感に対して評価できるものであった。 ☐ ・地域への貢献・環境配慮等に関して、特に評価できるものがあつた。 ☐ ・業務遂行中、新たに発生した課題等に対して、社内全体として体制の拡充を図る等により、業務を完成させた。 ☐ ・その他(理由:)
	小 計				100	③					
	結果評価	成果品の品質	目的の達成度	40	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・契約図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 ☐ ・業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 ☐ ・業務成果は、図面等の不整合がなく、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。 ☐ ・高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。
			的確なとりまとめ	30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・設計図書にある検討項目、業務遂行段階での提示事項を、漏れなく取りまとめている。 ☐ ・理解しづらい文章表現等は、ほとんど認められない。 ☐ ・簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫がみられ読みやすい。 ☐ ・設計図書にある事項、業務遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。
ミスの有無			30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・成果品の品質に大きな影響を及ぼすような、重大なミスはなかった。 ☐ ・誤字・脱字、表記・計算ミスはわずかに認められたが、簡易に修正できる軽微なものであった若しくはミスがなかった。 ☐ ・修正が必要なミスはなかった。 ☐ ・ミスはなく、必要書類等も完備されていた。	
小 計			100	③							

採点表

(Ⅱ-2) 建築設計(実施設計)

[主任監督員]

評価項目			評価の 視点	配点	得 点 率					得点	評価細目
					優 標 準 劣						
					1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
プロセス評価	専門技術力	業務執行技術力	業務執行技術力	100	右記評価細目の該当項目を総合的に判断して「0.2」、「0.4」、「0.6」(基準点)、「0.8」、「1.0」を付与する。						☐ ・当該業務の目的と内容の理解について、特に評価できるものであった。 ☐ ・当該業務に必要な情報の把握について、特に評価できるものであった。 ☐ ・当該業務に対する検討項目及び検討手法について、特に評価できるものであった。 ☐ ・当該業務の打合せ資料の内容について、特に評価できるものであった。 ☐ ・当該業務に必要とされる技術力を十分に発揮し、特に評価できるものであった。 ☐ ・その他(理由：)
		小 計	100	③							
		責任感、積極性、倫理観	責任感、積極性、倫理観	責任感、積極性、倫理観	100	右記評価細目の該当項目を総合的に判断して「0.2」、「0.4」、「0.6」(基準点)、「0.8」、「1.0」を付与する。					
	小 計	100	③								
結果評価	成果品の品質	目的の達成度	目的の達成度	40	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・契約図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 ☐ ・業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 ☐ ・業務成果は、図面等の不整合がなく、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。 ☐ ・高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得たれた。
		的確なとりまとめ	的確なとりまとめ	20	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・設計図書にある検討項目、業務遂行段階での提示事項を、漏れなく取りまとめている。 ☐ ・理解しづらい文章表現等は、ほとんど認められない。 ☐ ・簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫がみられ読みやすい。 ☐ ・設計図書にある事項、業務遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。
		ミスの有無	ミスの有無	20	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・成果品の品質に大きな影響を及ぼすような、重大なミスはなかった。 ☐ ・誤字・脱字、表記・計算ミスはわずかに認められたが、簡易に修正できる軽微なものであった若しくはミスがなかった。 ☐ ・修正が必要なミスはなかった。 ☐ ・ミスはなく、必要書類等も完備されていた。
	数量計算・数量計算書等(建築実施設計対象)	数量計算・数量計算書等(建築実施設計対象)	20	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・数量計算書等が、基準に準拠していた。 ☐ ・適用基準類では対処できない項目についてなど、検討事項の整理が適切になされていた。 ☐ ・集計表等がわかりやすく編集されており、チェックが容易であった。 ☐ ・数量計算書等は正確で精度が高く、ほとんど修正不要であった。	
小 計	100	③									

採点表

(Ⅲ)地質調査、単純調査等業務、測量作業、
調査業務、計画業務

[主任監督員]

評価項目			評価の 視点	配点	得 点 率					得点	評価細目
					優 標 準 劣						
					1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
プロセス評価	専門技術力	業務執行技術力	業務執行技術力	100	右記評価細目の該当項目を総合的に判断して「0.2」、「0.4」、「0.6」(基準点)、「0.8」、「1.0」を付与する。						☐ ・当該業務の目的と内容の理解について、特に評価できるものであった。 ☐ ・当該業務に必要な情報の把握について、特に評価できるものであった。 ☐ ・当該業務に対する検討項目及び検討手法について、特に評価できるものであった。 ☐ ・当該業務の打合せ資料の内容について、特に評価できるものであった。 ☐ ・当該業務に必要とされる技術力を十分に発揮し、特に評価できるものであった。 ☐ ・その他(理由:)
		小 計	100	③							
	責任感、積極性、倫理観	責任感、積極性、倫理観	責任感、積極性、倫理観	100	右記評価細目の該当項目を総合的に判断して「0.2」、「0.4」、「0.6」(基準点)、「0.8」、「1.0」を付与する。						☐ ・企業として積極的に技術の研究に取り組んでいる。 ☐ ・業務遂行にあたって、取り組みへの積極性・責任感に対して評価できるものであった。 ☐ ・地域への貢献・環境配慮等に関して、特に評価できるものがあった。 ☐ ・業務遂行中、新たに発生した課題等に対して、社内全体として体制の拡充を図る等により、業務を完成させた。 ☐ ・その他(理由:)
		小 計	100	③							
結果評価	成果品の品質	目的の達成度	目的の達成度	40	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・契約図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 ☐ ・業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 ☐ ・業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。 ☐ ・高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。
		的確なとりまとめ	的確なとりまとめ	30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・設計図書にある検討項目、業務遂行段階での提示事項を、漏れなく取りまとめている。 ☐ ・理解しづらい文章表現等は、ほとんど認められない。 ☐ ・簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫がみられ読みやすい。 ☐ ・設計図書にある事項、業務遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。
		ミスの有無	ミスの有無	30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・成果品の品質に大きな影響を及ぼすような、重大なミスはなかった。 ☐ ・誤字・脱字、表記・計算ミスはわずかに認められたが、簡易に修正できる軽微なものであった若しくはミスがなかった。 ☐ ・修正が必要なミスはなかった。 ☐ ・ミスはなく、必要書類等も完備されていた。
	小 計	100	③								

採点表

(IV) 工事監理

[主任監督員]

評価項目			評価の視点	配点	得 点 率					得点	評定細目
					優	やや優	普通	やや劣	劣		
					1.0	0.5	0.0	-0.5	-1.0		
プロセス評価	専門技術力	業務執行技術力	業務執行技術力	10.00	右記評価細目の該当項目を総合的に判断して得点率「-1.0」、「-0.5」、「0.0」(基準点)、「0.5」、「1.0」を付与する。						☐ 当該業務の目的と内容の理解について、特に評価できるものであった。
											☐ 当該業務に必要な情報の把握について、特に評価できるものであった。
											☐ 当該業務に対する検討項目及び検討手法について、特に評価できるものであった。
									☐ 当該業務の打合せ資料の内容について、特に評価できるものであった。		
									☐ 当該業務に必要なとされる技術力を十分に発揮し、特に評価できるものであった。		
									☐ その他(理由：)		
	小 計	10.00	／ ±100 ④								
	管理技術力	迅速性、 工程管理能力、 調整能力	迅速性、 工程管理能力、 調整能力	7.50	右記評価細目の該当項目を総合的に判断して得点率「-1.0」、「-0.5」、「0.0」(基準点)、「0.5」、「1.0」を付与する。						☐ 実施手順の設定、工程計画の立案にあたり、業務を効率的あるいは円滑に遂行するための工夫がなされていた。
											☐ 工程管理において積極的な姿勢が見られた。
											☐ 業務を効率的あるいは円滑に遂行できるよう、必要な人員及び資格者が確保されていた。
									☐ その他(理由：)		
	小 計	7.50	／ ±100 ④								
	取組姿勢、 社会性	責任感、積極性	責任感の強さ、 積極性	10.00	右記評価細目の該当項目を総合的に判断して得点率「-1.0」、「-0.5」、「0.0」(基準点)、「0.5」、「1.0」を付与する。						☐ 企業として積極的に技術の研鑽に取り組んでいる。
											☐ 業務遂行にあたって、取り組みへの積極性・責任感に対して評価できるものであった。
											☐ 業務遂行中、新たに発生した課題等に対して、社内全体として体制の拡充を図る等により、業務を完了させた。
									☐ その他(理由：)		
	小 計	10.00	／ ±100 ④								
結果評価	施工計画の 確認検討、 施工図等の 検討、 工事の確認	施工計画の 確認検討、 施工図等の 検討、 工事の確認	7.50	右記評価細目の該当項目を総合的に判断して得点率「-1.0」、「-0.5」、「0.0」(基準点)、「0.5」、「1.0」を付与する。						☐ 業務成果は、業務目的に照らし、特に評価できるものであった。	
										☐ 工事の品質に大きな影響を及ぼすような、重大なミスは無かった。	
										☐ 工事の工程に大きな影響を及ぼすような、重大なミスは無かった。	
								☐ その他(理由：)			
小 計	7.50	／ ±100 ④									
合 計			35.00	／ 100							
評 定 点				／ 35× 40 + 60 =							

所見

工事監理委託

[主任監督員]

採点表

(Ⅰ)土木設計(概略設計、予備設計、詳細設計) [総括監督員]

減点項目	減点の範囲	減点基準		減点	適応事例
		区分	考査点		
事故等による減点	当該業務遂行中に受注者に起因する事故等が発生し指名停止等の措置を行った場合には、当該業務の総合評定点(100点満点換算)に対して、右減点基準を参考として－15点まで減点することができる。	口頭注意	－3点		☐ ・入札前に提出した当該業務の技術提案書等が虚偽であった事実が判明した。 ☐ ・発注者の承諾なしに当該業務に関する権利義務、成果物を第三者に譲渡又は承継、公開した。 ☐ ・産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等、関係法令に違反する事実が判明した。 ☐ ・一括再委託、請負を行った。 ☐ ・打合せ協議または検査の実施にあたり、職務の執行を妨げた。 ☐ ・当該業務において過積載等の道路交通法違反により、逮捕または送検等された。 ☐ ・当該業務において安全管理の処分が不適切であったために、死傷者を生じさせた業務関係者事故、または重大な損害を与えた公衆災害を起こした。 ☐ ・その他(理由：)
		文書注意	－5点		
		指名停止1ヵ月まで	－10点		
		指名停止1ヵ月を超える	－15点		
	小 計	⑪			
契約不適合に係る履行の追完等による減点 (軽微なミスの修補を除く)	受注者の責任に起因する契約不適合が存在し、契約不適合に係る履行の追完等が実施された場合には、当該業務の総合評定点(100点満点換算)に対して、右減点基準を参考として、－20点まで減点することができる。	契約不適合に係る履行の追完等の実施	－10点		☐ ・契約不適合に係る履行の追完等の実施 ☐ ・故意又は重大な過失により契約不適合に係る履行の追完等の実施
		故意又は重大な過失により契約不適合に係る履行の追完等の実施	－20点		
	小 計	⑫			

採点表

(Ⅱ-1) 建築設計(基本設計)

[総括監督員]

減点項目	減点の範囲	減点基準		減点	適応事例
		区分	考査点		
事故等による減点	当該業務遂行中に受注者に起因する事故等が発生し指名停止等の措置を行った場合には、当該業務の総合評定点(100点満点換算)に対して、右減点基準を参考として-15点まで減点することができる。	口頭注意	-3点		☐ ・入札前に提出した当該業務の技術提案書等が虚偽であった事実が判明した。 ☐ ・発注者の承諾なしに当該業務に関する権利義務、成果物を第三者に譲渡又は承継、公開した。 ☐ ・産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等、関係法令に違反する事実が判明した。 ☐ ・一括再委託、請負を行った。 ☐ ・打合せ協議または検査の実施にあたり、職務の執行を妨げた。 ☐ ・当該業務において過積載等の道路交通法違反により、逮捕または送検等された。 ☐ ・当該業務において安全管理の処分が不適切であったために、死傷者を生じさせた業務関係者事故、または重大な損害を与えた公衆災害を起こした。 ☐ ・その他(理由:)
		文書注意	-5点		
		指名停止1ヵ月まで	-10点		
		指名停止1ヵ月を超える	-15点		
	小 計	⑪			
契約不適合に係る履行の追完等による減点 (軽微なミスの修補を除く)	受注者の責任に起因する契約不適合が存在し、契約不適合に係る履行の追完等が実施された場合には、当該業務の総合評定点(100点満点換算)に対して、右減点基準を参考として、-20点まで減点することができる。	契約不適合に係る履行の追完等の実施	-10点		☐ ・契約不適合に係る履行の追完等の実施 ☐ ・故意又は重大な過失により契約不適合に係る履行の追完等の実施
		故意又は重大な過失により契約不適合に係る履行の追完等の実施	-20点		
	小 計	⑫			

採点表

(Ⅱ-2) 建築設計(実施設計)

[総括監督員]

減点項目	減点の範囲	減点基準		減点	適応事例
		区分	考査点		
事故等による減点	当該業務遂行中に受注者に起因する事故等が発生し指名停止等の措置を行った場合には、当該業務の総合評定点(100点満点換算)に対して、右減点基準を参考として-15点まで減点することができる。	口頭注意	-3点		☐ ・入札前に提出した当該業務の技術提案書等が虚偽であった事実が判明した。 ☐ ・発注者の承諾なしに当該業務に関する権利義務、成果物を第三者に譲渡又は承継、公開した。 ☐ ・産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等、関係法令に違反する事実が判明した。 ☐ ・一括再委託、請負を行った。 ☐ ・打合せ協議または検査の実施にあたり、職務の執行を妨げた。 ☐ ・当該業務において過積載等の道路交通法違反により、逮捕または送検等された。 ☐ ・当該業務において安全管理の処分が不適切であったために、死傷者を生じさせた業務関係者事故、または重大な損害を与えた公衆災害を起こした。 ☐ ・その他(理由:)
		文書注意	-5点		
		指名停止1ヵ月まで	-10点		
		指名停止1ヵ月を超える	-15点		
	小 計	⑪			
契約不適合に係る履行の追完等による減点 (軽微なミスの修補を除く)	受注者の責任に起因する契約不適合が存在し、契約不適合に係る履行の追完等が実施された場合には、当該業務の総合評定点(100点満点換算)に対して、右減点基準を参考として、-20点まで減点することができる。	契約不適合に係る履行の追完等の実施	-10点		☐ ・契約不適合に係る履行の追完等償の実施 ☐ ・故意又は重大な過失により契約不適合に係る履行の追完等の実施
		故意又は重大な過失により契約不適合に係る履行の追完等の実施	-20点		
	小 計	⑫			

採点表

(Ⅲ)地質調査、単純調査等業務、測量作業、

調査業務、計画業務

[総括監督員]

減点項目	減点の範囲	減点基準		減点	適応事例
		区分	考査点		
事故等による減点	当該業務遂行中に受注者に起因する事故等が発生し指名停止等の措置を行った場合には、当該業務の総合評定点(100点満点換算)に対して、右減点基準を参考として－15点まで減点することができる。	口頭注意	－3点		☐ ・入札前に提出した当該業務の技術提案書等が虚偽であった事実が判明した。 ☐ ・発注者の承諾なしに当該業務に関する権利義務、成果物を第三者に譲渡又は承継、公開した。 ☐ ・産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等、関係法令に違反する事実が判明した。 ☐ ・一括再委託、請負を行った。 ☐ ・打合せ協議または検査の実施にあたり、職務の執行を妨げた。 ☐ ・当該業務において過積載等の道路交通法違反により、逮捕または送検等された。 ☐ ・当該業務において安全管理の処分が不適切であったために、死傷者を生じさせた業務関係者事故、または重大な損害を与えた公衆災害を起こした。 ☐ ・その他(理由：)
		文書注意	－5点		
		指名停止1ヵ月まで	－10点		
		指名停止1ヵ月を超える	－15点		
		小 計		⑪	
契約不適合に係る履行の追完等による減点 (軽微なミスの修補を除く)	受注者の責任に起因する契約不適合が存在し、契約不適合に係る履行の追完等が実施された場合には、当該業務の総合評定点(100点満点換算)に対して、右減点基準を参考として、－20点まで減点することができる。	契約不適合に係る履行の追完等の実施	－10点		☐ ・契約不適合に係る履行の追完等の実施 ☐ ・故意又は重大な過失により契約不適合に係る履行の追完等の実施
		故意又は重大な過失により契約不適合に係る履行の追完等の実施	－20点		
		小 計		⑫	

採点表

(Ⅳ) 工事監理

〔総括監督員〕

減点項目	減点の範囲	減点基準		減点	適応事例		
		区分	減点				
事故等による減点	当該業務遂行中に受注者に起因する事故等が発生し、指名停止等の措置を行った場合には、当該業務の総合評定点に対して、右に示す減点基準を参考として－１５点まで減点することができる。	口頭注意	－３点		☐ 入札前に提出した当該業務の技術提案書等が虚偽であった事実が判明した。		
		文書注意	－５点		☐ 発注者の承諾なしに当該業務に関する権利義務、成果物を第三者に譲渡又は承継、公開した。		
		指名停止 １箇月まで	－１０点		☐ 産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等、関係法令に違反する事実が判明した。		
		指名停止が １箇月を超える	－１５点		☐ 一括再委託、請負を行った。		
					☐ 打合せ協議または検査の実施にあたり、職務の執行を妨げた。		
小 計		⑩			☐ 当該業務において過積載等の道路交通法違反により、逮捕または送検等された。		
債務の不履行による減点	当該業務において、受注者に起因する契約の違反が発生し、債務の不履行又は債務の不履行と共に損害賠償の請求等の措置を行った場合には、当該業務の総合評定点に対して、右に示す減点基準を参考として－２０点まで減点することができる。	履行請求又は 履行請求と共に 損害賠償の 実施	－１０点		☐ 建築士法に違反する事実が判明した。		
		故意又は重大 な過失により 履行請求又は 履行請求と共に 損害賠償の 実施	－２０点		☐ 当該業務の受注者に起因し、安全管理が不適切であったために、死傷者を生じさせた業務関係者事故、または重大な損害を与えた公衆災害を起こした。		
					☐ その他（ ）		
		小 計			⑪		

所見

工事監理委託

〔総括監督員〕

採点表

(Ⅰ) 土木設計(概略設計、予備設計、詳細設計) [検査員]

評価項目			評価の 視点	配点	得 点 率					得点	評価細目
					優 標 準 劣						
					1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
プロセス評価	専門技術力	業務執行技術力	検討項目、 検討手法	50	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・検討項目は、特記仕様書等の契約図書の項目を満足していた。 ☐ ・採用された検討手法の技術的内容は、業務の目的に適合していた。 ☐ ・業務目的に照らし必要な検討項目が不足なく設定され、検討項目間の整合も図られていた。 ☐ ・採用された検討手法は、従来技術を応用・統合化あるいは先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。
			十分な技術力	50	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・業務に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されていた。 ☐ ・特記仕様書等に示された当該業務固有の条件に対応可能な十分な技術力を有していた。 ☐ ・業務遂行段階において発注者から新たに指示された事項について十分満足できる解決が図られていた。 ☐ ・新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に十分対応できる能力を有していた。
		小 計	100	⑤							
	コミュニケーション力	説明力、プレゼンテーション力、 協調性	理解しやすい説明・プレゼンテーション	100	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・質問に対する確かな回答がなされ、一般論と当該業務固有の議論が明確に区別されていた。 ☐ ・曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。 ☐ ・説明の際に、相手の理解度を把握するよう努力され、相手の理解度に応じ、説明のポイント・速さ等が工夫されていた。 ☐ ・説明当事者の説明が不十分の場合、他のメンバーにより補足説明がなされた、若しくは説明が十分であり、補足説明を要しなかった。
			小 計	100	⑤						
	結果評価	成果品の品質	目的の達成度	40	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・契約図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 ☐ ・業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 ☐ ・業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。 ☐ ・高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。
的確なとりまとめ			30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・設計図書にある検討項目、業務遂行段階での提示事項を、漏れなく取りまとめている。 ☐ ・理解しづらい文章表現等は、ほとんど認められない。 ☐ ・簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫がみられ読みやすい。 ☐ ・設計図書にある事項、業務遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。	
ミスの有無			30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・成果品の品質に大きな影響を及ぼすような、重大なミスはなかった。 ☐ ・誤字・脱字、表記・計算ミスはわずかに認められたが、簡易に修正できる軽微なものであった若しくはミスがなかった。 ☐ ・修正が必要なミスはなかった。 ☐ ・ミスはなく、必要書類等も完備されていた。	
小 計			100	⑤							

採点表

(Ⅱ-1) 建築設計(基本設計)

〔検査員〕

評価項目			評価の 視点	配点	得点率					得点	評価細目
					優 標 準 劣						
					1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
プロセス評価	専門技術力	業務執行技術力	検討項目、 検討手法	50	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・検討項目は、特記仕様書等の契約図書の項目を満足していた。 ☐ ・採用された検討手法の技術的内容は、業務の目的に適合していた。 ☐ ・業務目的に照らし必要な検討項目が不足なく設定され、検討項目間の整合も図られていた。 ☐ ・採用された検討手法は、従来技術を応用・統合化あるいは先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。
			十分な技術力	50	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・業務に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されていた。 ☐ ・特記仕様書等に示された当該業務固有の条件に対応可能な十分な技術力を有していた。 ☐ ・業務遂行段階において発注者から新たに指示された事項について十分満足できる解決が図られていた。 ☐ ・新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に十分対応できる能力を有していた。
		小 計	100	⑤							
	コミュニケーション力	説明力、 プレゼンテーション力、 協調性	理解しやすい説明・プレゼンテーション	100	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・質問に対する的確な回答がなされ、一般論と当該業務固有の議論が明確に区別されていた。 ☐ ・曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。 ☐ ・説明の際に、相手の理解度を把握するよう努力され、相手の理解度に応じ、説明のポイント・速さ等が工夫されていた。 ☐ ・説明当事者の説明が不十分の場合、他のメンバーにより補足説明がなされた、若しくは説明が十分であり、補足説明を要しなかった。
			小 計	100	⑤						
結果評価	成果品の品質	目的の達成度	40	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・契約図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 ☐ ・業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 ☐ ・業務成果は、図面等の不整合がなく、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。 ☐ ・高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。	
		的確な とりまとめ	30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・設計図書にある検討項目、業務遂行段階での提示事項を、漏れなく取りまとめている。 ☐ ・理解しづらい文章表現等は、ほとんど認められない。 ☐ ・簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫がみられ読みやすい。 ☐ ・設計図書にある事項、業務遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。	
		ミスの有無	30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・成果品の品質に大きな影響を及ぼすような、重大なミスはなかった。 ☐ ・誤字・脱字、表記・計算ミスはわずかに認められたが、簡易に修正できる軽微なものであった若しくはミスがなかった。 ☐ ・修正が必要なミスはなかった。 ☐ ・ミスはなく、必要書類等も完備されていた。	
		小 計	100	⑤							

採点表

(Ⅱ-2) 建築設計(実施設計)

〔検査員〕

評価項目			評価の 視点	配点	得点率					得点	評価細目
					優 標 準 劣						
					1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
プロセス評価	専門技術力	業務執行技術力	検討項目、 検討手法	50	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・検討項目は、特記仕様書等の契約図書の項目を満足していた。 ☐ ・採用された検討手法の技術的内容は、業務の目的に適合していた。 ☐ ・業務目的に照らし必要な検討項目が不足なく設定され、検討項目間の整合も図られていた。 ☐ ・採用された検討手法は、従来技術を応用・統合化あるいは先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。
			十分な技術力	50	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・業務に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されていた。 ☐ ・特記仕様書等に示された当該業務固有の条件に対応可能な十分な技術力を有していた。 ☐ ・業務遂行段階において発注者から新たに指示された事項について十分満足できる解決が図られていた。 ☐ ・新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に十分対応できる能力を有していた。
		小 計	100	⑤							
	コミュニケーション力	説明力、プレゼンテーション力、 協調性	理解しやすい説明・プレゼンテーション	100	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・質問に対する確かな回答がなされ、一般論と当該業務固有の議論が明確に区別されていた。 ☐ ・曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。 ☐ ・説明の際に、相手の理解度を把握するよう努力され、相手の理解度に応じ、説明のポイント・速さ等が工夫されていた。 ☐ ・説明当事者の説明が不十分の場合、他のメンバーにより補足説明がなされた、若しくは説明が十分であり、補足説明を要しなかった。
			小 計	100	⑤						
結果評価	成果品の品質	目的の達成度	40	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・契約図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 ☐ ・業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 ☐ ・業務成果は、図面等の不整合がなく、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。 ☐ ・高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。	
		的確なとりまとめ	30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・設計図書にある検討項目、業務遂行段階での提示事項を、漏れなく取りまとめている。 ☐ ・理解しづらい文章表現等は、ほとんど認められない。 ☐ ・簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫がみられ読みやすい。 ☐ ・設計図書にある事項、業務遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。	
		ミスの有無	30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・成果品の品質に大きな影響を及ぼすような、重大なミスはなかった。 ☐ ・誤字・脱字、表記・計算ミスはわずかに認められたが、簡易に修正できる軽微なものであった若しくはミスがなかった。 ☐ ・修正が必要なミスはなかった。 ☐ ・ミスはなく、必要書類等も完備されていた。	
		小 計	100	⑤							

採点表

(Ⅲ)地質調査、単純調査等業務、測量作業、
調査業務、計画業務

[検査員]

評価項目			評価の 視点	配点	得 点 率					得点	評価細目
					優 標 準 劣						
					1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
プロセス評価	専門技術力	業務執行技術力	検討項目、 検討手法	50	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・検討項目は、特記仕様書等の契約図書の項目を満足していた。 ☐ ・採用された検討手法の技術的内容は、業務の目的に適合していた。 ☐ ・業務目的に照らし必要な検討項目が不足なく設定され、検討項目間の整合も図られていた。 ☐ ・採用された検討手法は、従来技術を応用・統合化あるいは先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。
			十分な技術力	50	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・業務に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されていた。 ☐ ・特記仕様書等に示された当該業務固有の条件に対応可能な十分な技術力を有していた。 ☐ ・業務遂行段階において発注者から新たに指示された事項について十分満足できる解決が図られていた。 ☐ ・新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に十分対応できる能力を有していた。
		小 計	100	⑤							
	コミュニケーション力	説明力、 プレゼンテーション力、 協調性	理解しやすい説明・プレゼンテーション	100	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・質問に対する確な回答がなされ、一般論と当該業務固有の議論が明確に区別されていた。 ☐ ・曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。 ☐ ・説明の際に、相手の理解度を把握するよう努力され、相手の理解度に応じ、説明のポイント・速さ等が工夫されていた。 ☐ ・説明当事者の説明が不十分の場合、他のメンバーにより補足説明がなされた、若しくは説明が十分であり、補足説明を要しなかった。
			小 計	100	⑤						
	結果評価	成果品の品質	目的の達成度	40	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・契約図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 ☐ ・業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 ☐ ・業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。 ☐ ・高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。
的確なとりまとめ			30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・設計図書にある検討項目、業務遂行段階での提示事項を、漏れなく取りまとめている。 ☐ ・理解しづらい文章表現等は、ほとんど認められない。 ☐ ・簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫がみられ読みやすい。 ☐ ・設計図書にある事項、業務遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。	
ミスの有無			30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・成果品の品質に大きな影響を及ぼすような、重大なミスはなかった。 ☐ ・誤字・脱字、表記・計算ミスはわずかに認められたが、簡易に修正できる軽微なものであった若しくはミスがなかった。 ☐ ・修正が必要なミスはなかった。 ☐ ・ミスはなく、必要書類等も完備されていた。	
小 計			100	⑤							

採点表
(IV) 工事監理

[検査員]

評価項目			評価の視点	配点	得 点 率					得点	評定細目
					優	やや優	普通	やや劣	劣		
					1.0	0.5	0.0	-0.5	-1.0		
プロセス評価	専門技術力	業務執行技術力	検討・確認事項、 検討・確認内容 (施工図の確認)	10.00	評価細目チェック数 =0⇒『劣』 (得点率=-1.0) =1⇒『やや劣』 (得点率=-0.5) =2⇒『普通』 (得点率= 0.0) =3⇒『やや優』 (得点率= 0.5) =4⇒『優』 (得点率= 1.0)						☐ 設計内容（当該工事の仕様書や図面等の内容）や関係法令の内容が把握されていた。 ☐ 当初の検討項目や指示事項等について一貫性のある技術的な知識をもって対応した。 ☐ 業務特性、現地条件、地域特性等の諸条件を考慮した上で、課題の解決が図られていた。 ☐ 新たな、あるいは難易度の高い内容に十分対応した。
					得 点 率						
			検討・確認事項、 検討・確認内容 (工事の確認、 指示事項の確認)	10.00	評価細目チェック数 =0⇒『劣』 (得点率=-1.0) =1⇒『やや劣』 (得点率=-0.5) =2⇒『普通』 (得点率= 0.0) =3⇒『やや優』 (得点率= 0.5) =4⇒『優』 (得点率= 1.0)						☐ 施工計画等の確認等や工事が設計図書の内容に合致するかどうかの確認等を行った。 ☐ 施工計画等の確認等や工事が設計図書の内容に合致するかどうかの確認等がもれなく的確に行われた。 ☐ 協議事項や指示事項に対する対応がなされた。 ☐ 協議事項や指示事項に対する対応が十分な説明資料をもってなされた。
					得 点 率						
			小 計	20.00	0.00 / ±100 ⑤						
	管理技術力	迅速性、 工程管理能力、 調整能力	迅速性、 工程管理能力、 調整能力	10.00	評価細目チェック数 =0⇒『劣』 (得点率=-1.0) =1⇒『やや劣』 (得点率=-0.5) =2⇒『普通』 (得点率= 0.0) =3⇒『やや優』 (得点率= 0.5) =4⇒『優』 (得点率= 1.0)						☐ 施工図や工事の確認、指示事項等への対応が行われた。 ☐ 施工図や工事の確認、指示事項等への対応が必要な時期に迅速に行われた。 ☐ 工事請負業者等との調整が円滑かつ十分に行われた。 ☐ 建築、設備など各分野をまたがる調整が円滑かつ十分に行われた。
					得 点 率						
			小 計	10.00	/ ±100 ⑤						
結果評価	施工計画の 確認検討、 施工図等の 検討、 工事の確認	施工計画の 確認検討、 施工図等 の検討、 工事の確認	5.00	評価細目チェック数 =0⇒『劣』 (得点率=-1.0) =1⇒『やや劣』 (得点率=-0.5) =2⇒『普通』 (得点率= 0.0) =3⇒『やや優』 (得点率= 0.5) =4⇒『優』 (得点率= 1.0)						☐ 必要な項目を網羅している。 ☐ 記載内容に著しい不整合が見られない。 ☐ 的確で簡潔な表現になっており、業務の履行状況が確認しやすい。 ☐ 記載方法に創意工夫がみられ、補足資料等が充実している。	
				得 点 率							
		小 計	5.00	/ ±100 ⑤							
合 計				35.00	/ 100						
評 定 点					/ 35× 40 + 60 =						

所見
工事監理委託

[検査員]